

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料編

防災指針

「資料編」防災指針

Ⅰ 都市計画区域における災害リスクの分析（マクロの視点）

都市計画区域における災害リスクの分析にあたっては、下表の災害ハザード情報について分布状況を確認します。

【対象とする災害ハザード情報】

災害の種別	災害リスクの把握で用いる情報
土砂災害	土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域
内水	浸水想定箇所（内水被害）の状況（令和元年8月豪雨相当）
洪水	【洪水浸水想定区域（計画規模）】 筑後川：荒瀬上流域の48時間総雨量 521 mm 早津江川：荒瀬上流域の48時間総雨量 521 mm 城原川：城原川流域の48時間総雨量 521 mm 佐賀江川：佐賀江川流域の6時間総雨量 171 mm 八田江：八田江流域の6時間総雨量 171 mm 巨勢川：巨勢川流域の6時間総雨量 171 mm 嘉瀬川：嘉瀬川流域の48時間総雨量 615 mm 本庄江：本庄江流域の6時間総雨量 143 mm 祇園川：祇園川流域の48時間総雨量 186 mm 福所江：福所江流域の24時間総雨量 230 mm
	【洪水浸水想定区域（想定最大規模）】 筑後川：荒瀬川流域の48時間総雨量 810 mm（国管理区間） 早津江川：荒瀬川流域の48時間総雨量 810 mm（国管理区間） 城原川：荒瀬川流域の48時間総雨量 810 mm（国管理区間） 城原川流域の6時間総雨量 561 mm（県管理区間） 佐賀江川：荒瀬川流域の48時間総雨量 810 mm（国管理区間） 佐賀江川流域の6時間総雨量 511 mm（県管理区間） 八田江：佐賀江川流域の6時間総雨量 511 mm（県管理区間） 巨勢川：佐賀江川流域の6時間総雨量 511 mm（県管理区間） 嘉瀬川：嘉瀬川流域の6時間総雨量 437 mm（国管理区間） 本庄江：本庄江流域の6時間総雨量 600 mm（県管理区間） 祇園川：嘉瀬川流域の6時間総雨量 437 mm（国管理区間） 祇園川流域の6時間総雨量 616 mm（県管理区間） 福所江：福所江流域の6時間総雨量 635 mm（県管理区間）
	【家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）】 筑後川：荒瀬上流域の48時間総雨量 810 mm 早津江川：荒瀬川流域の48時間総雨量 810 mm 城原川：城原川流域の6時間総雨量 561 mm 佐賀江川：佐賀江川流域の6時間総雨量 511 mm 八田江：八田江流域の6時間総雨量 511 mm 巨勢川：巨勢川流域の6時間総雨量 511 mm 嘉瀬川：嘉瀬川流域の6時間総雨量 437 mm 本庄江：本庄江流域の6時間総雨量 600 mm 祇園川：祇園川流域の6時間総雨量 616 mm 福所江：福所江流域の6時間総雨量 635 mm
津波	津波浸水想定区域（想定最大規模）
高潮	高潮浸水想定区域
地震	建物全壊率

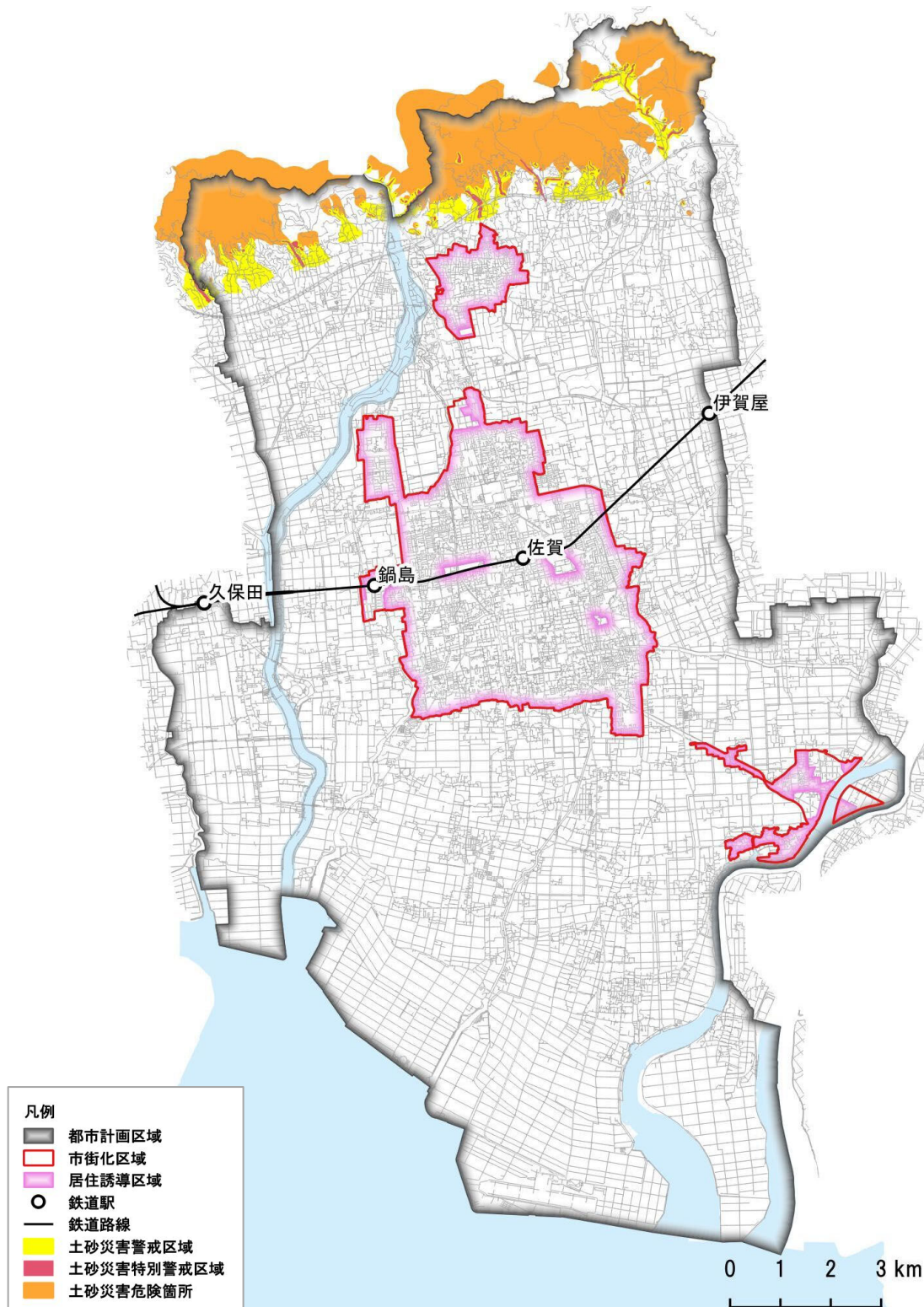
その他、ハザード情報ではありませんが、大規模盛土造成地についても滑落崩落の可能性があることから発表されている資料をもとに整理します。

災害の種別	現況の把握で用いる情報
大規模盛土造成地の滑落崩落	大規模盛土造成地

(1) 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、土砂災害危険箇所

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域、土砂災害危険箇所については、長崎自動車以北の山間部を中心に指定されており、市街化区域及び居住誘導区域においては指定されていない状況です。

【土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域・土砂災害危険箇所の指定状況】



出典：佐賀市ハザードマップ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

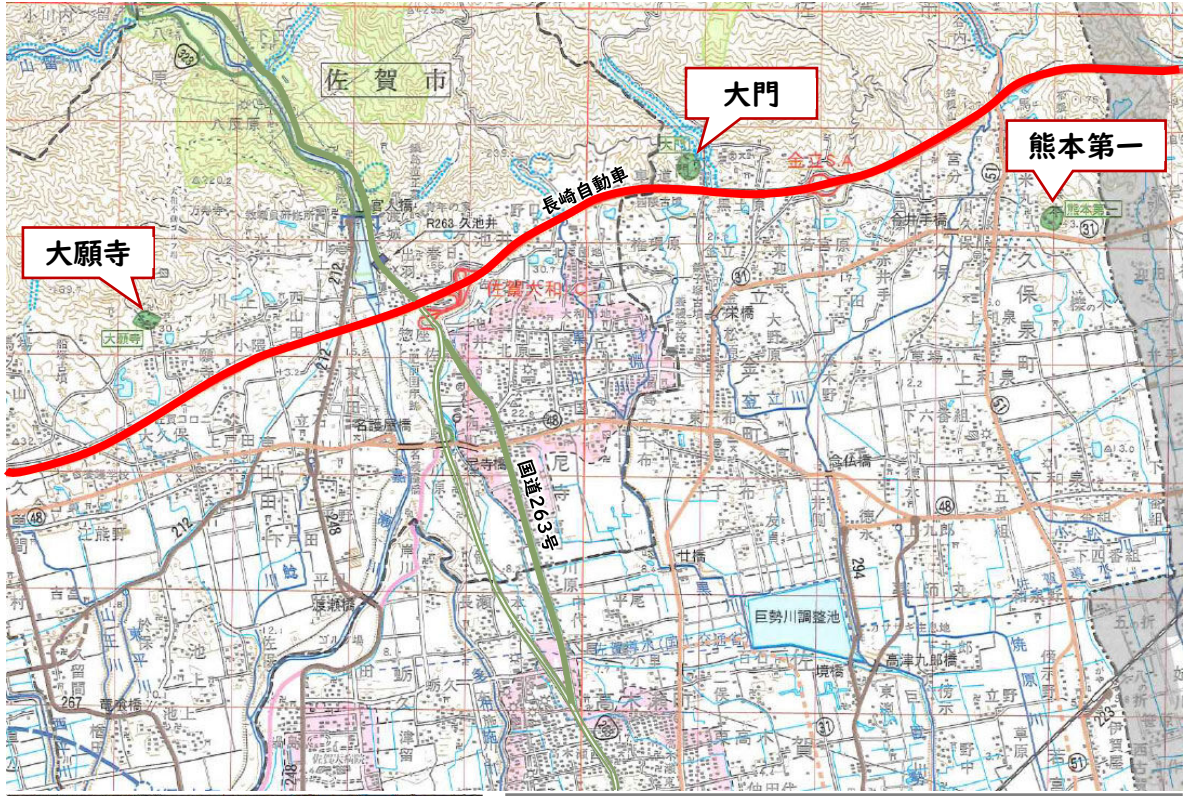
資料編

防災指針

(2) 急傾斜地崩壊危険区域

都市計画区域内においては、大門及び熊本第一、大願寺に急傾斜地崩壊危険区域が指定されており、市街化区域及び居住誘導区域においては指定されていない状況です。

【急傾斜地崩壊危険区域の指定状況】



凡 例	
	有明海沿岸道路計画線 (国土交通省施工区間)
	有明海沿岸道路計画線 (県施工区間)
	有明海沿岸道路計画帯
	佐賀県準道路計画線
	一般国道 (4車以上) (指定区間)
	一般国道 (2車) (指定区間)
	一般国道 (4車以上) (指定区間外)
	一般国道 (2車) (指定区間外)
	主要地方道 (4車以上)
	主要地方道 (2車)
	一般県道 (4車以上)
	一般県道 (2車)
	(県管理) 道路情報板
	高速道路
	臨港道路
	市街化区域
	砂防指定地
	上流築
	国土交通省管理
	県管理港湾区域
	県管理海岸区域 (佐賀土木事務所管理区域)
	[参考] 県管理海岸区域 (佐賀中部農林事務所管理区域)
	県立自然公園特別区域
	401 一般県道 (自転車道)

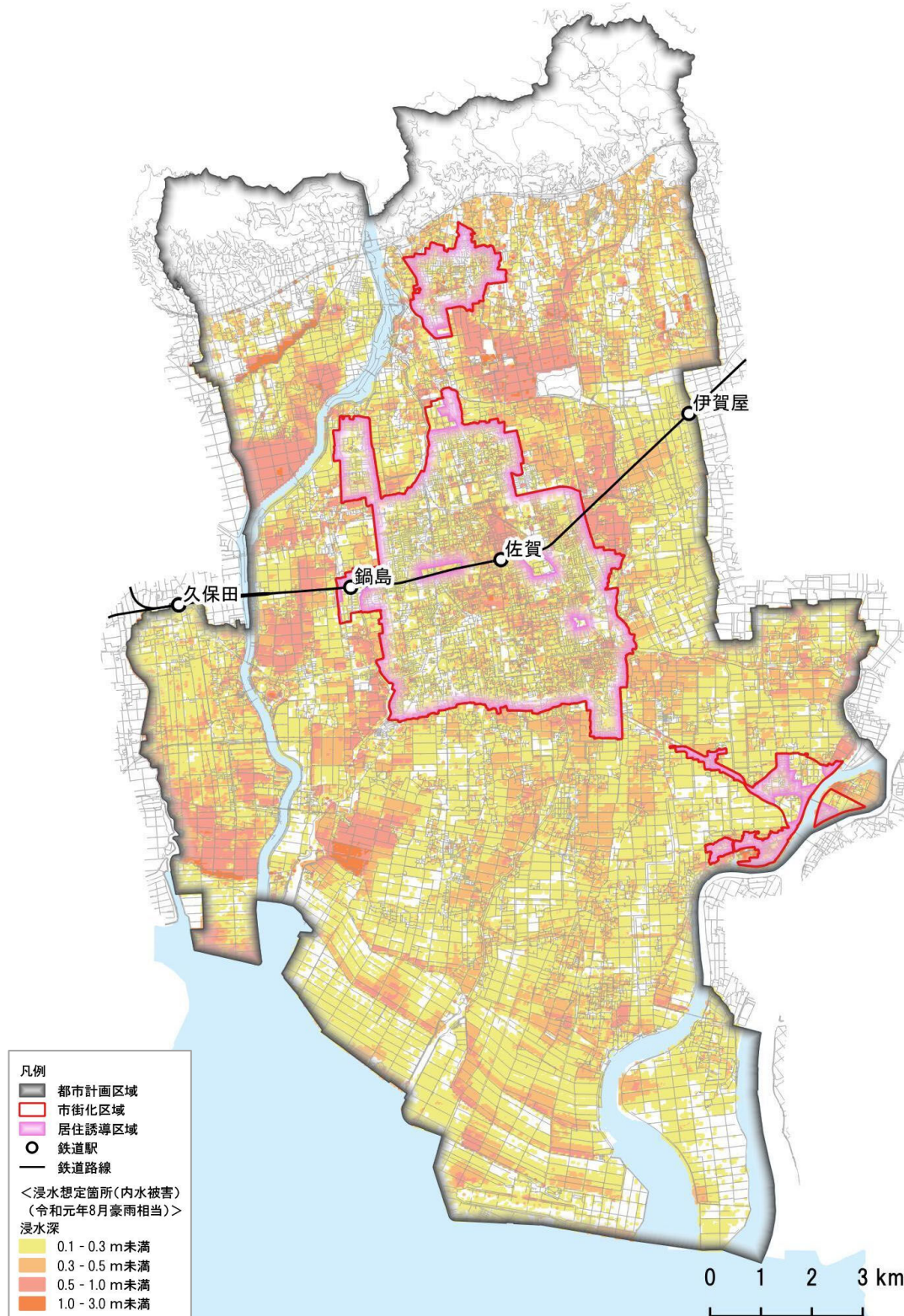
急傾斜地崩壊危険区域					
地域名	所在地	地域名	所在地	地域名	所在地
大門	佐賀市	内野第一	佐賀市 (富士町)	筋原	多久市
熊本第一				吉ノ尾	
棧敷				東原	
古道				池の平第二	
袖ノ木		中村	佐賀市 (三瀬村)		
田中	佐賀市 (大和町)	神有			
屋形所		平松			
四十坊				牛の尾	
大願寺		駄地		吉田	
井出の原		道祖元		下右原	

出典：佐賀土木事務所管内図

(3) 内水浸水想定箇所

佐賀市に大規模な内水氾濫をもたらした、令和元年8月豪雨に相当する豪雨と大潮が重なった場合の浸水予想結果に基づく浸水深については、居住誘導区域の全域において分布しており、広い範囲で0.5m未満の浸水が想定されています。

【内水浸水想定箇所の状況（令和元年8月豪雨相当）】



※佐賀市に大規模な内水氾濫をもたらした令和元年8月豪雨に相当する豪雨と大潮が重なった場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度を示している。
出典：佐賀市データ、佐賀市内水ハザードマップ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

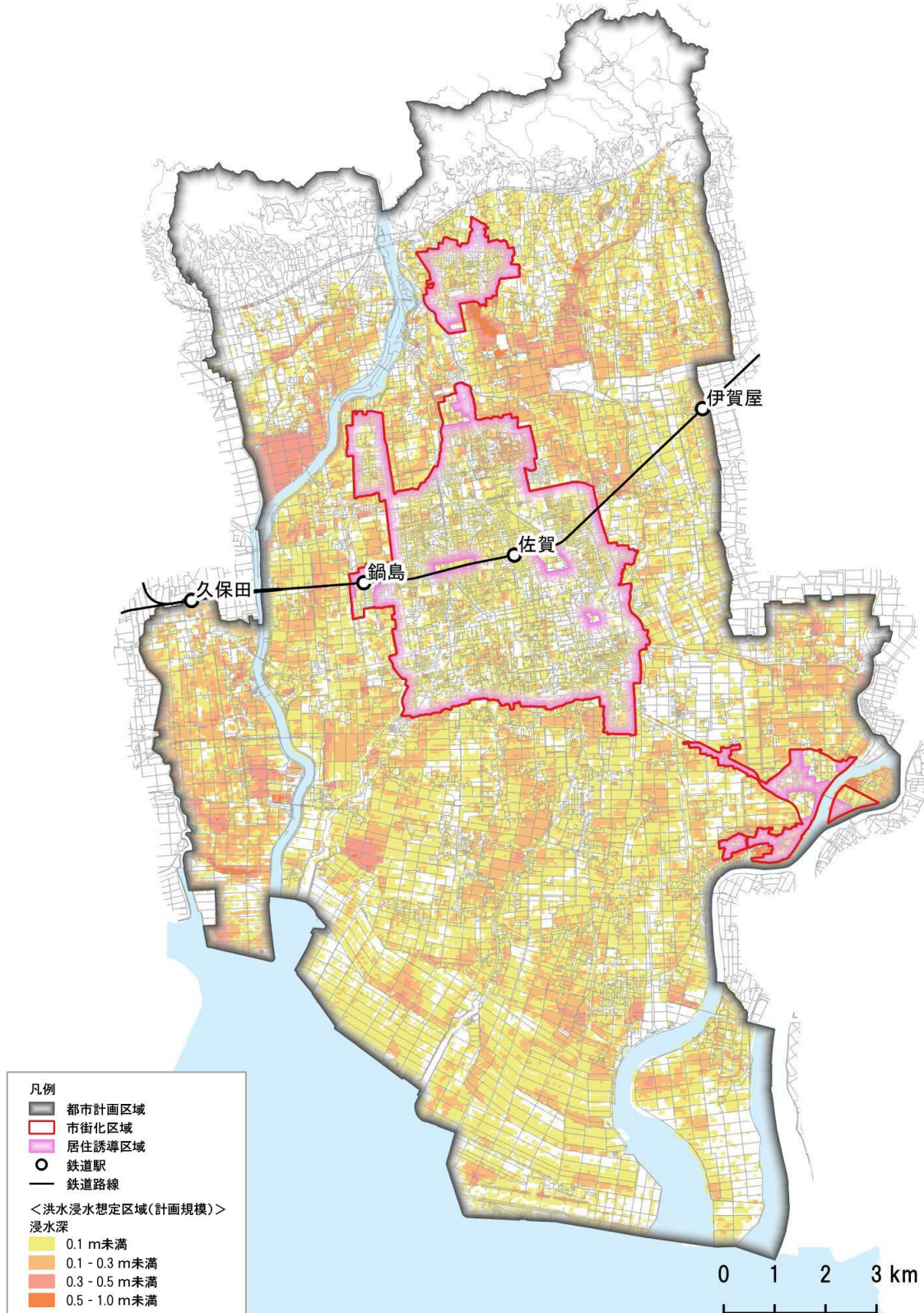
資料編

防災指針

(4) 洪水浸水想定区域(計画規模)

洪水浸水想定区域(計画規模)は居住誘導区域の全域において指定されており、おおむねの範囲において0.3m未満の浸水が想定されています。

【洪水浸水想定区域(計画規模)】

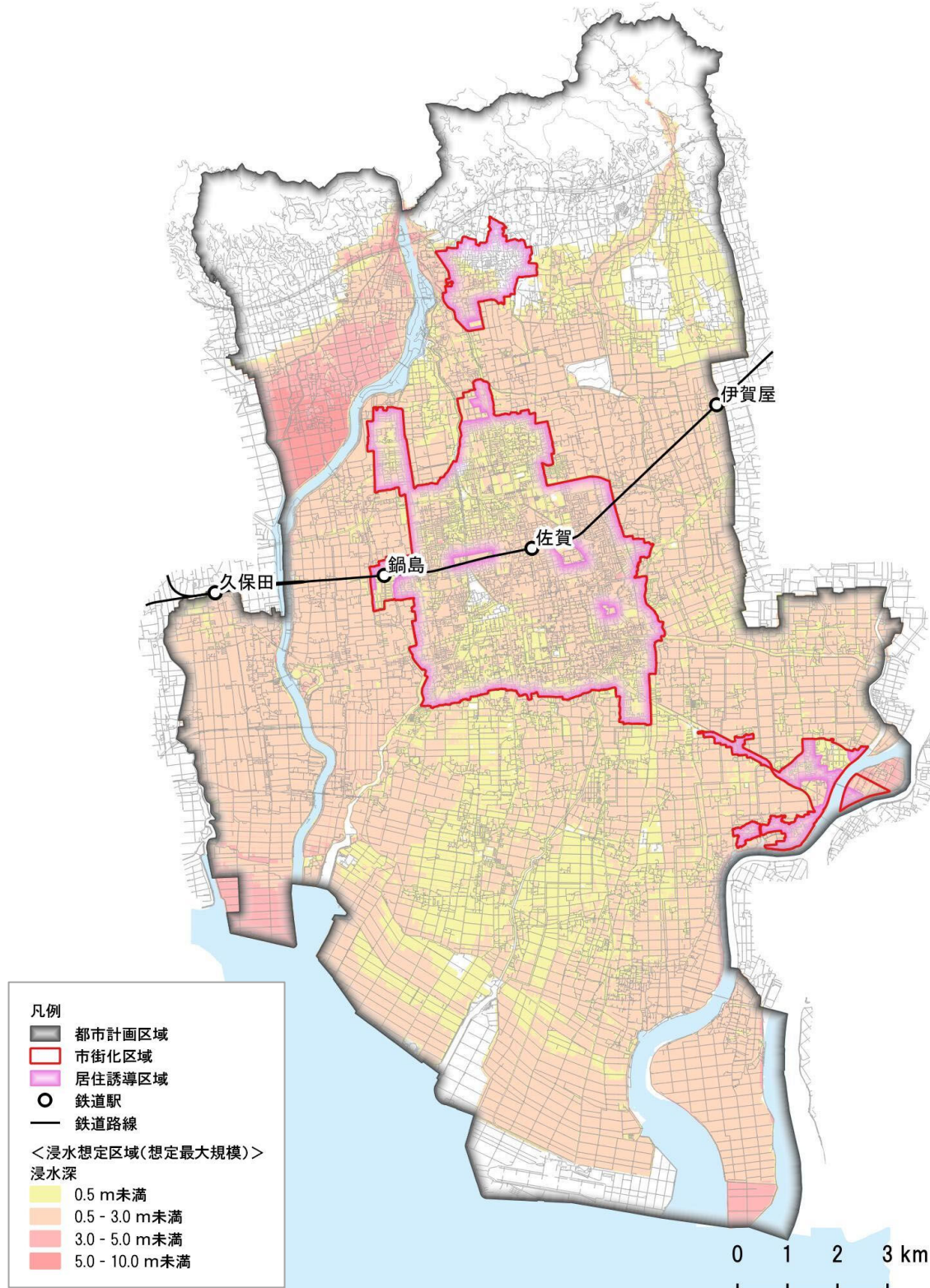


出典：佐賀市データ

(5) 洪水浸水想定区域(想定最大規模)

洪水浸水想定区域(想定最大規模)は、中心拠点居住誘導区域と諸富地域拠点居住誘導区域の全域において0.5m~3.0m未満の浸水が想定されており、大和地域拠点居住誘導区域の西側の区域においても0.5m~3.0m未満の浸水が想定されています。

【洪水浸水想定区域(想定最大規模)】



出典：佐賀市データ、佐賀市洪水ハザードマップ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

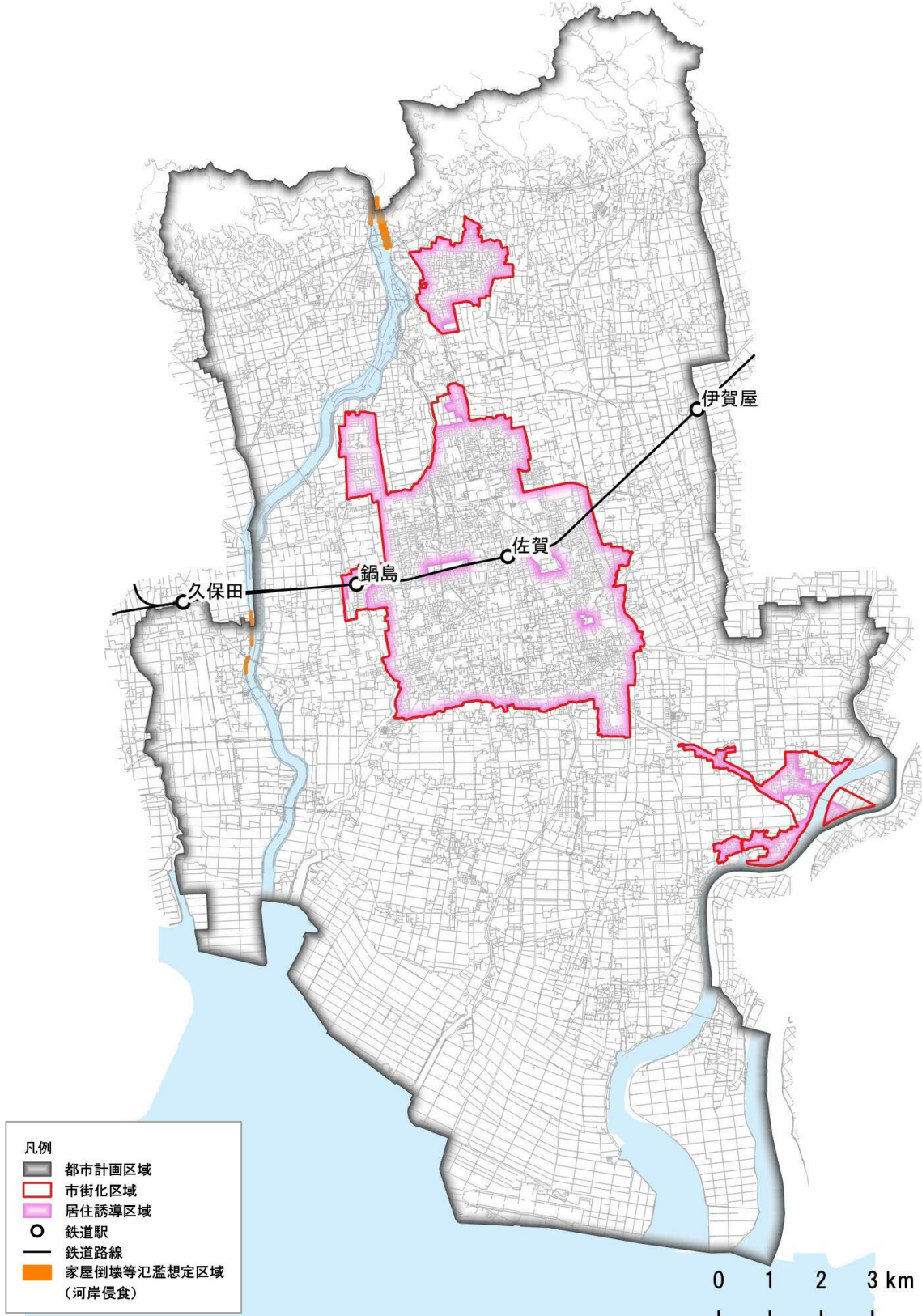
資料編

防災指針

(6) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)は居住誘導区域に指定されていません。

【家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)の指定状況】

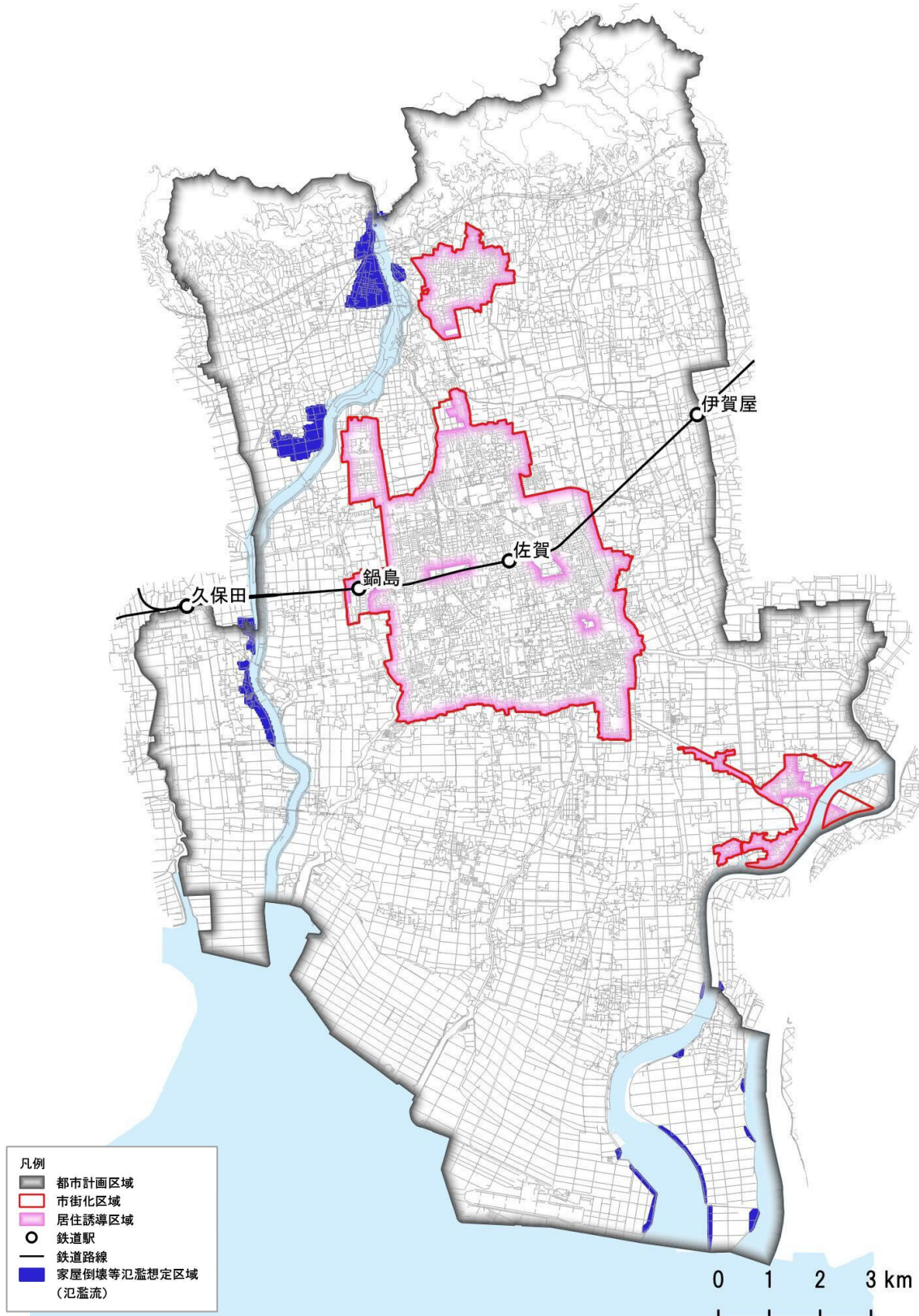


出典：佐賀市データ

(7) 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)は居住誘導区域に指定されていません。

【家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)の指定状況】



出典：佐賀市データ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

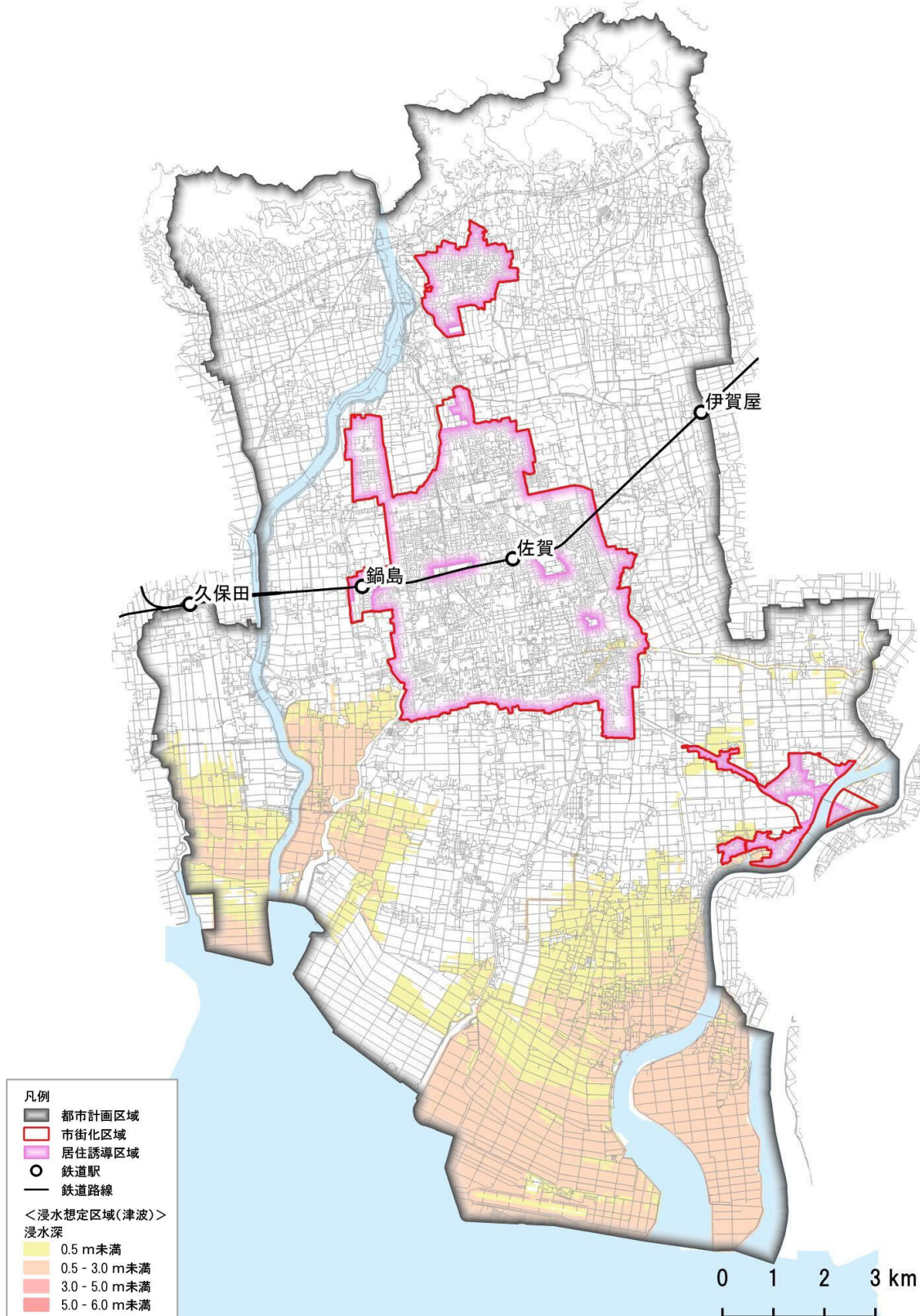
資料編

防災指針

(8) 津波浸水想定区域(想定最大規模)

津波浸水想定区域(想定最大規模)は、中心拠点居住誘導区域の南東側の一部の区域において0.5m未満の浸水が想定されています。

【津波浸水想定区域の指定状況】

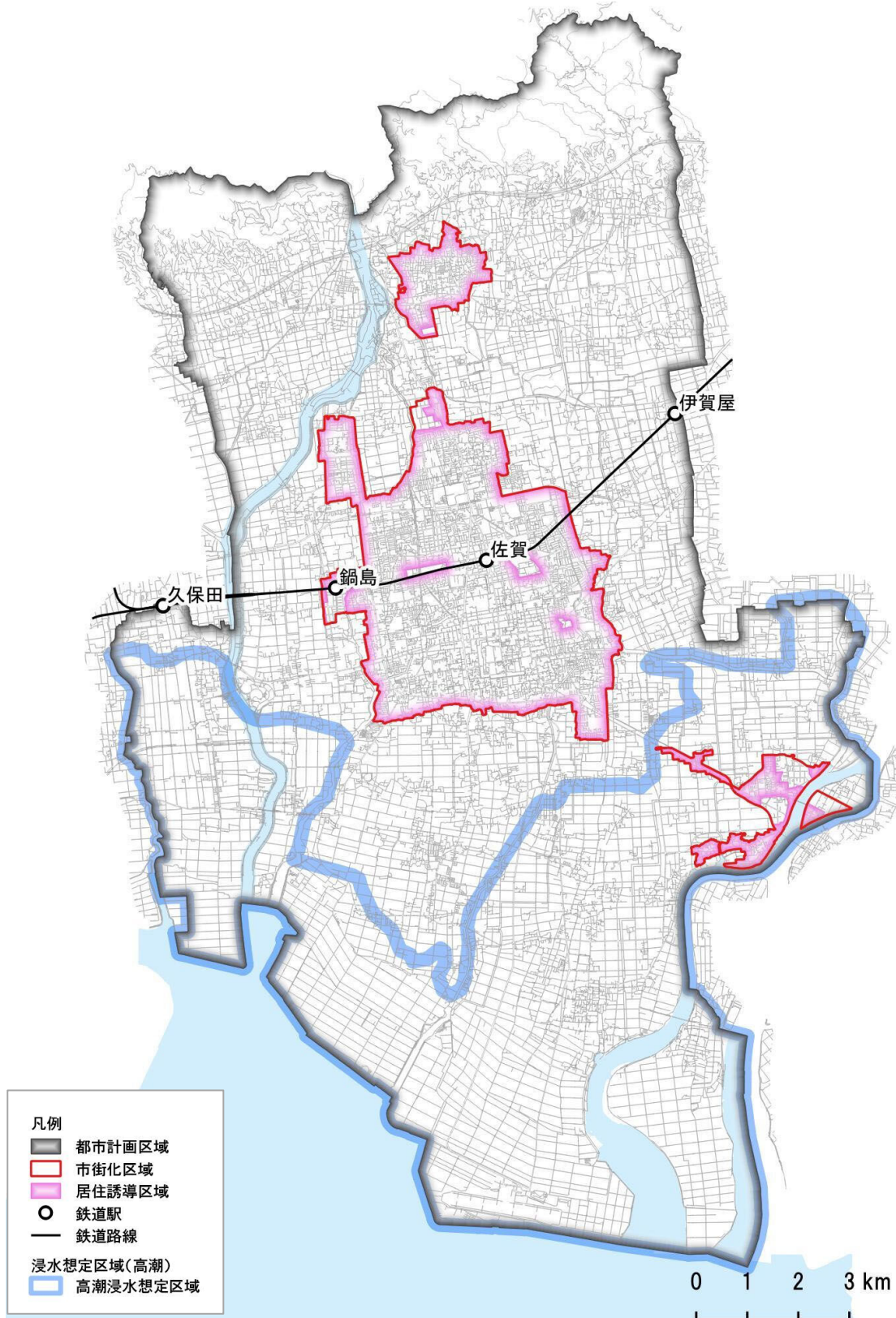


出典：佐賀市データ、佐賀市津波ハザードマップ

(9) 高潮浸水想定区域

高潮浸水想定区域について、市街化区域内においては、諸富地域拠点居住誘導区域に指定されています。(浸水深の詳細については、第2章「都市構造の現状整理・課題分析」P55を参照)

【高潮浸水想定区域の指定状況】



出典：佐賀市データ、佐賀市高潮ハザードマップ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

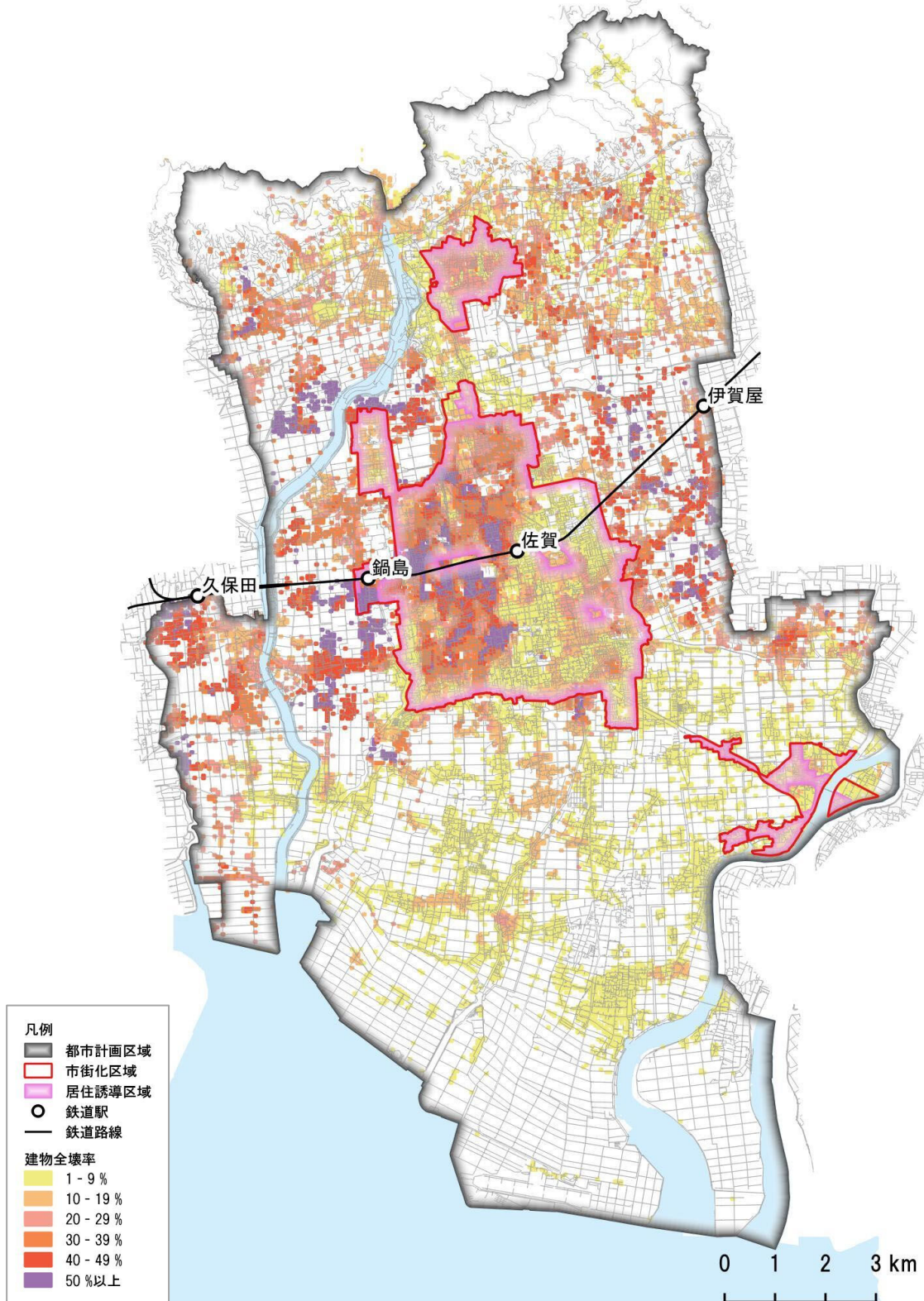
資料編

防災指針

(10) 建物全壊率

中心拠点居住誘導区域の西側において、全壊率 50%以上の建物が多く立地しています。その他居住誘導区域の広い範囲で、全壊が想定される建物が多く立地している状況です。

【建物全壊率の状況】

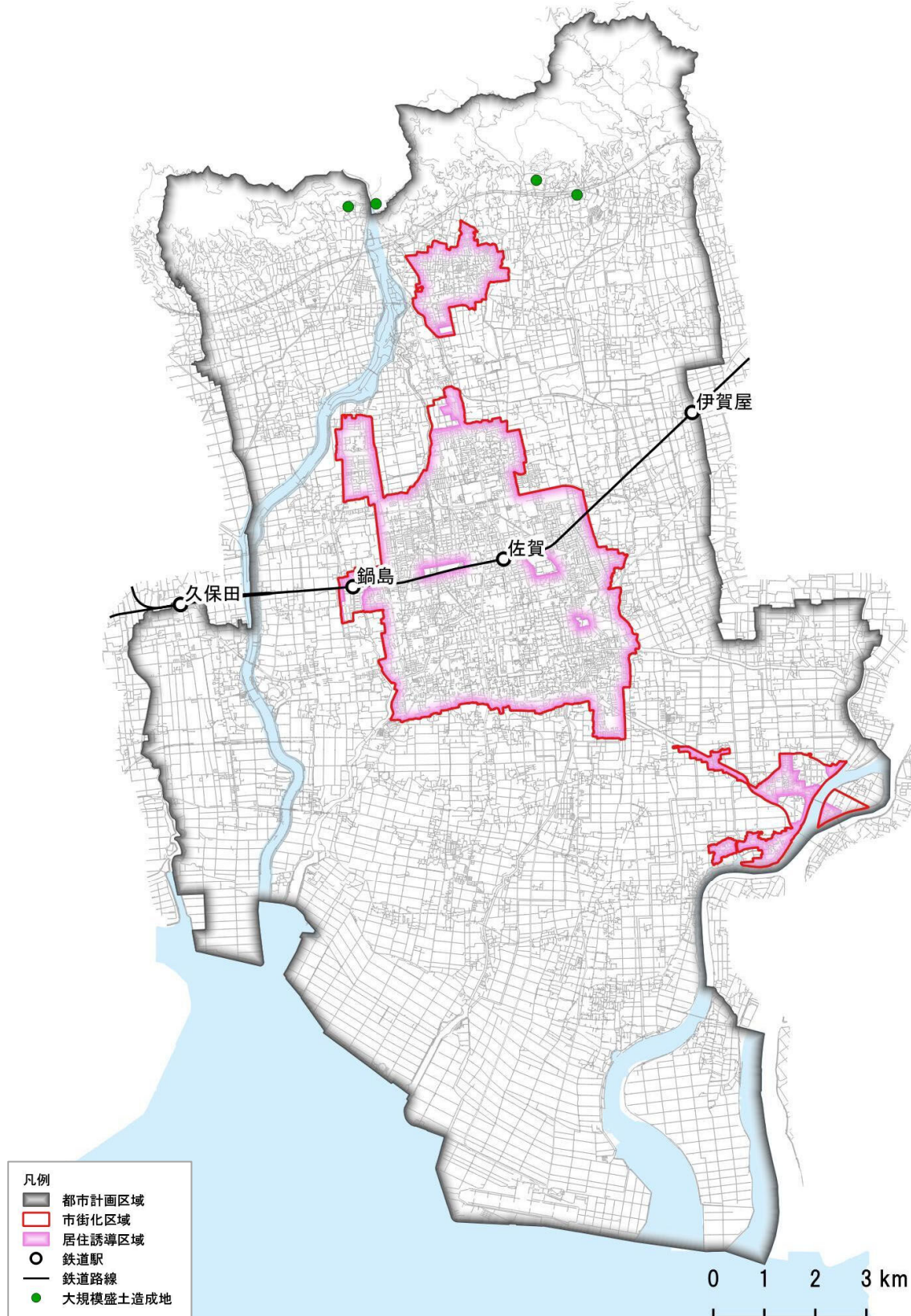


出典：佐賀市データ

(11) 大規模盛土造成地

大規模盛土造成地は都市機能誘導区域及び居住誘導区域内においては存在していません。

【大規模盛土造成地の状況】



出典：佐賀市データ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料編

防災指針

2 居住誘導区域等における災害リスクの分析（ミクロの視点）

居住誘導区域等の災害リスクの分析にあたっては、国土交通省による立地適正化計画作成の手引きを参考として、前述の各種災害ハザード情報をもとに、住宅や避難所、医療施設や高齢者福祉施設等の都市機能や主要道路、アンダーパス等の都市基盤情報を重ね合わせることで、災害ハザード毎にミクロな視点で課題を抽出します。

ハザード情報

重ねる情報
(都市の情報等)

課題の抽出

■洪水・内水・土砂災害等による課題抽出のための分析

災害ハザード情報	重ねる情報	課題抽出の視点
ア 洪水浸水想定区域（計画規模） イ 洪水浸水想定区域（想定最大規模） ウ 内水浸水想定箇所 エ 高潮浸水想定区域 オ 津波浸水想定区域	建物階数、 避難所の状況	浸水想定区域内の建物について、垂直避難が可能かを把握するため
カ 浸水継続時間（想定最大規模）	将来的な人口分布 （2045年）	長時間の浸水が想定される区域について、どの程度の人口集積がみられるかを把握するため
キ 洪水浸水想定区域（計画規模） ク 洪水浸水想定区域（想定最大規模） ケ 内水浸水想定箇所 コ 高潮浸水想定区域 サ 津波浸水想定区域 シ 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域	医療施設、 高齢者福祉施設の 状況	浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内等における医療施設、高齢者福祉施設の継続利用の可能性を把握するため
ス 洪水浸水想定区域（計画規模） セ 洪水浸水想定区域（想定最大規模） ソ 内水浸水想定箇所 タ 津波浸水想定区域	主要道路、 アンダーパスの状況	浸水想定区域内にアンダーパス、主要道路があるか、周囲に迂回機能があるかを把握するため

■河岸侵食・氾濫流による課題抽出のための分析

ハザード情報	重ねる情報	課題抽出の視点
ア 河岸侵食の想定区域 イ 氾濫流の想定区域	建物立地の状況	氾濫流や河岸侵食により建物が倒壊、流出する危険性がないかを把握するため

■地震による課題抽出のための分析

ハザード情報	重ねる情報	課題抽出の視点
ア 建物全壊率	避難所の状況	地震時の建物倒壊の近隣に避難所があるかを把握するため

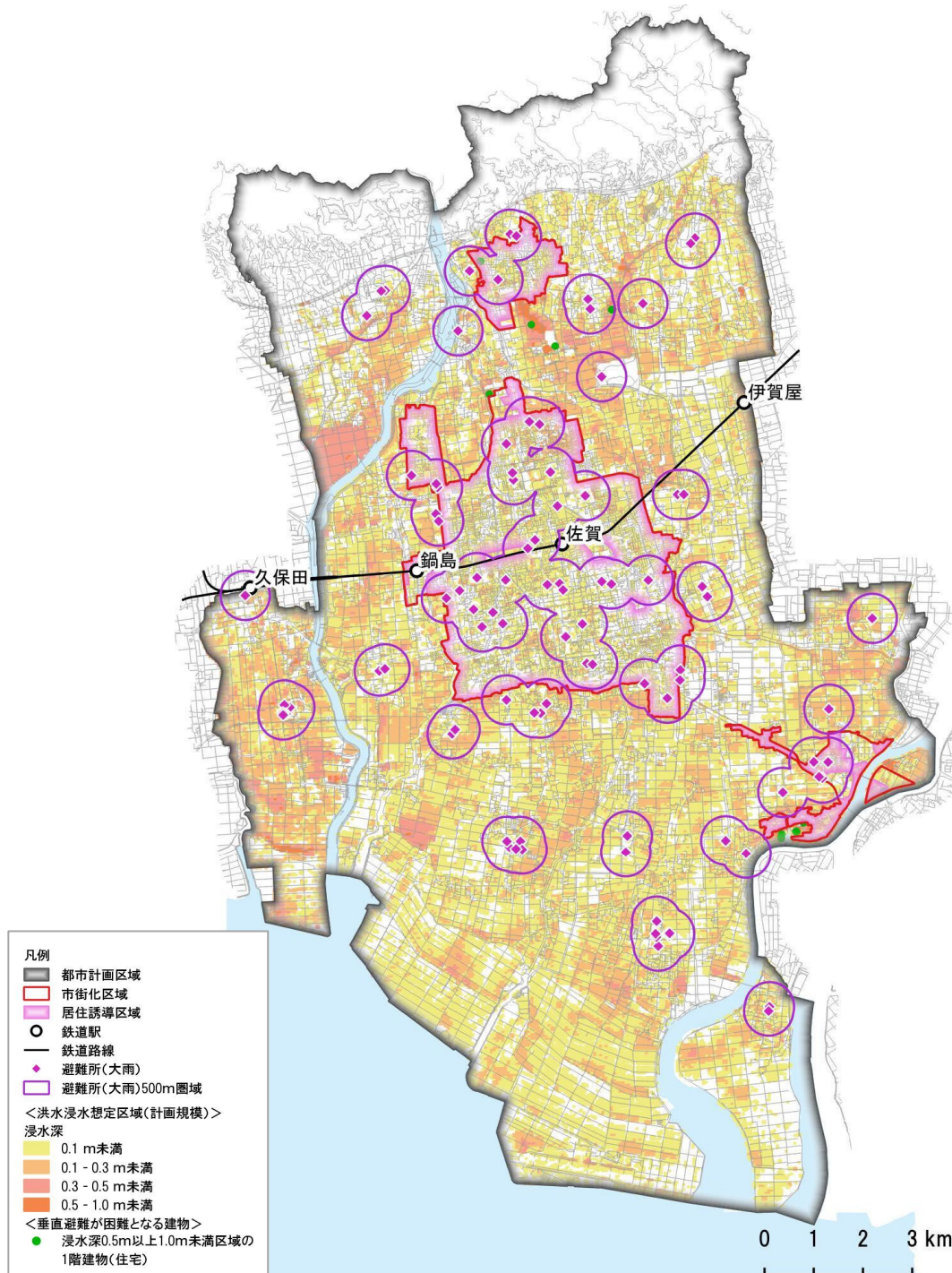
(1) 洪水・内水・土砂災害等による課題

ア 洪水浸水想定区域(計画規模) × 建物階数・避難所の状況

計画規模の洪水浸水において、都市計画区域内の垂直避難が困難な建物は21棟立地しています。諸富地域拠点居住誘導区域やその周辺に立地している垂直避難が困難な建物については、避難所が周辺に立地していない箇所が見受けられます。

都市計画区域内に立地している避難所95施設のうち、17施設が浸水深 0.5m以上の区域内に立地しています。

【洪水浸水想定区域(計画規模) × 建物階数・避難所の状況】



出典：【浸水想定区域(計画規模)】佐賀市データ
【避難所】佐賀市データ
【建物】都市計画基礎調査(佐賀市(平成30年(2018年)))

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料編

防災指針

イ 洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 建物階数・避難所の状況

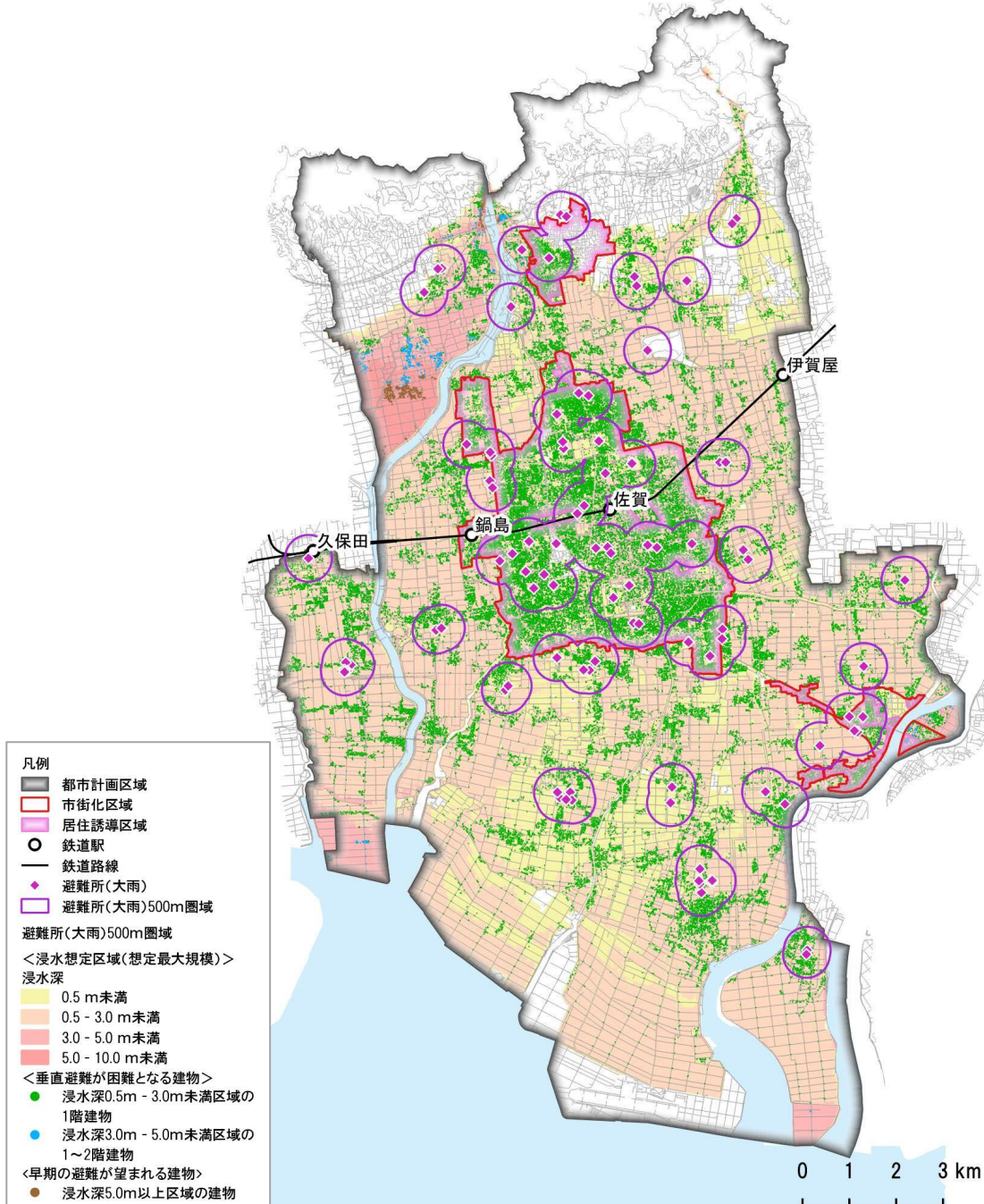
中心拠点居住誘導区域に立地する1階建物の多くが垂直避難困難となることが想定されるとともに、一部の区域では避難所が周辺に設置されていない状況です。

大和地域拠点居住誘導区域の西側においても垂直避難が困難となる1階建物が多く存在し、周辺に避難所がない区域も見られます。

嘉瀬川流域周辺の大和地域においては垂直避難が困難となる1~2階の建物と早期避難が望まれる浸水深5.0m以上の区域内に建物が集積しているとともに、避難所が周辺に立地していない箇所が見受けられます。

都市計画区域内に立地している避難所95施設のうち、71施設が浸水深0.5m以上の区域内に立地しています。

【洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 建物階数・避難所の状況】



出典：【浸水想定区域(想定最大規模)】佐賀市データ、佐賀市洪水ハザードマップ
【避難所】佐賀市データ
【建物】都市計画基礎調査(佐賀市(平成30年(2018年)))

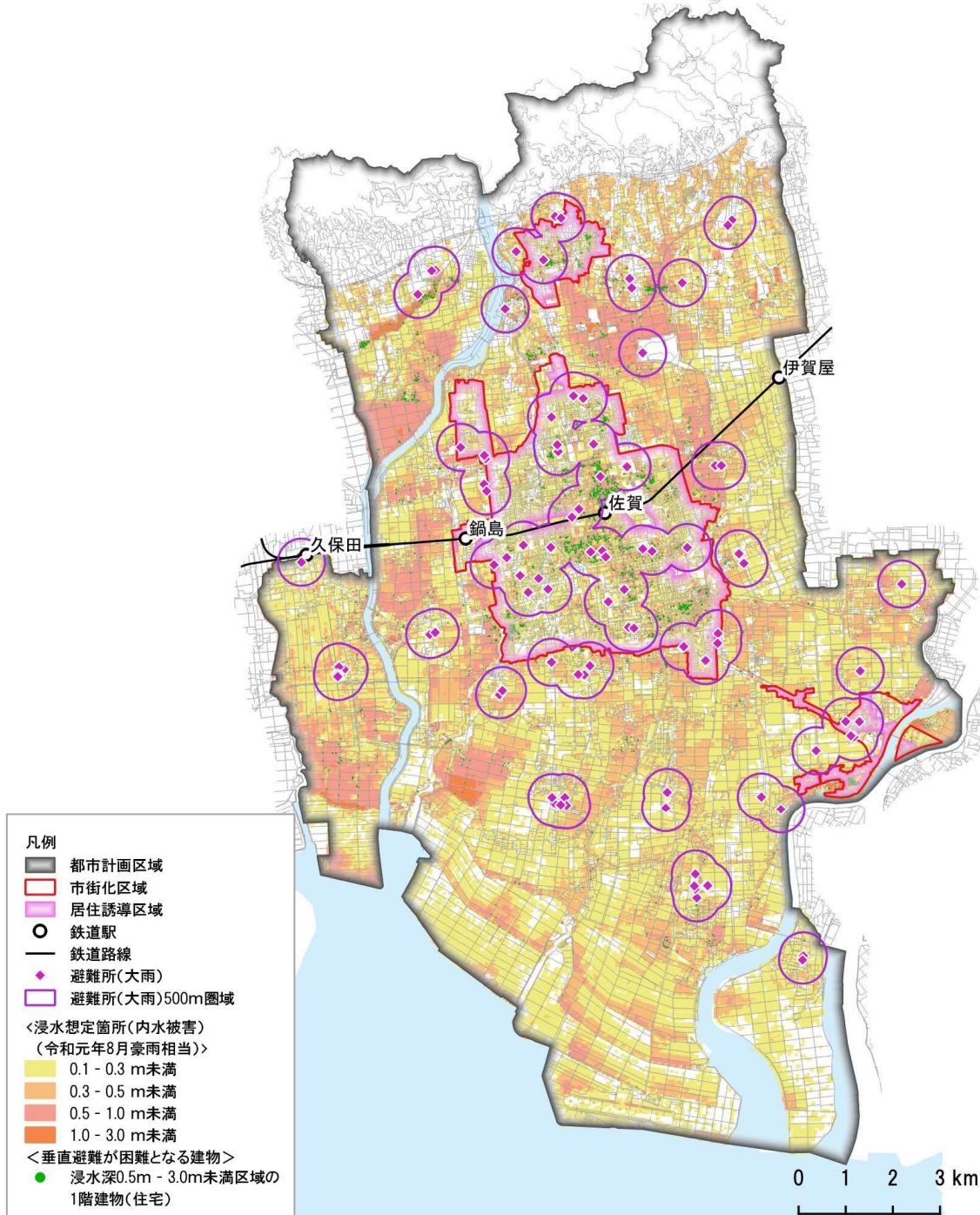
ウ 内水浸水想定箇所 × 建物階数・避難所の状況

佐賀市に大規模な内水氾濫をもたらした令和元年8月豪雨相当の内水被害が想定される区域において、都市計画区域内の垂直避難が困難な建物は300棟立地しています。

中心拠点居住誘導区域や大和地域拠点居住誘導区域に立地している一部の垂直避難が困難な建物周辺には、避難所が設置されていない箇所も見受けられます。

都市計画区域内に立地している避難所95施設のうち、22施設が浸水深 0.5m以上の区域内に立地しています。

【内水浸水想定箇所(令和元年8月豪雨想定) × 建物階数・避難所の状況】



※佐賀市に大規模な内水氾濫をもたらした令和元年8月豪雨に相当する豪雨と大潮が重なった場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度を示している。

出典：【浸水想定区域(内水被害)】佐賀市データ、佐賀市内水ハザードマップ

【避難所】佐賀市データ

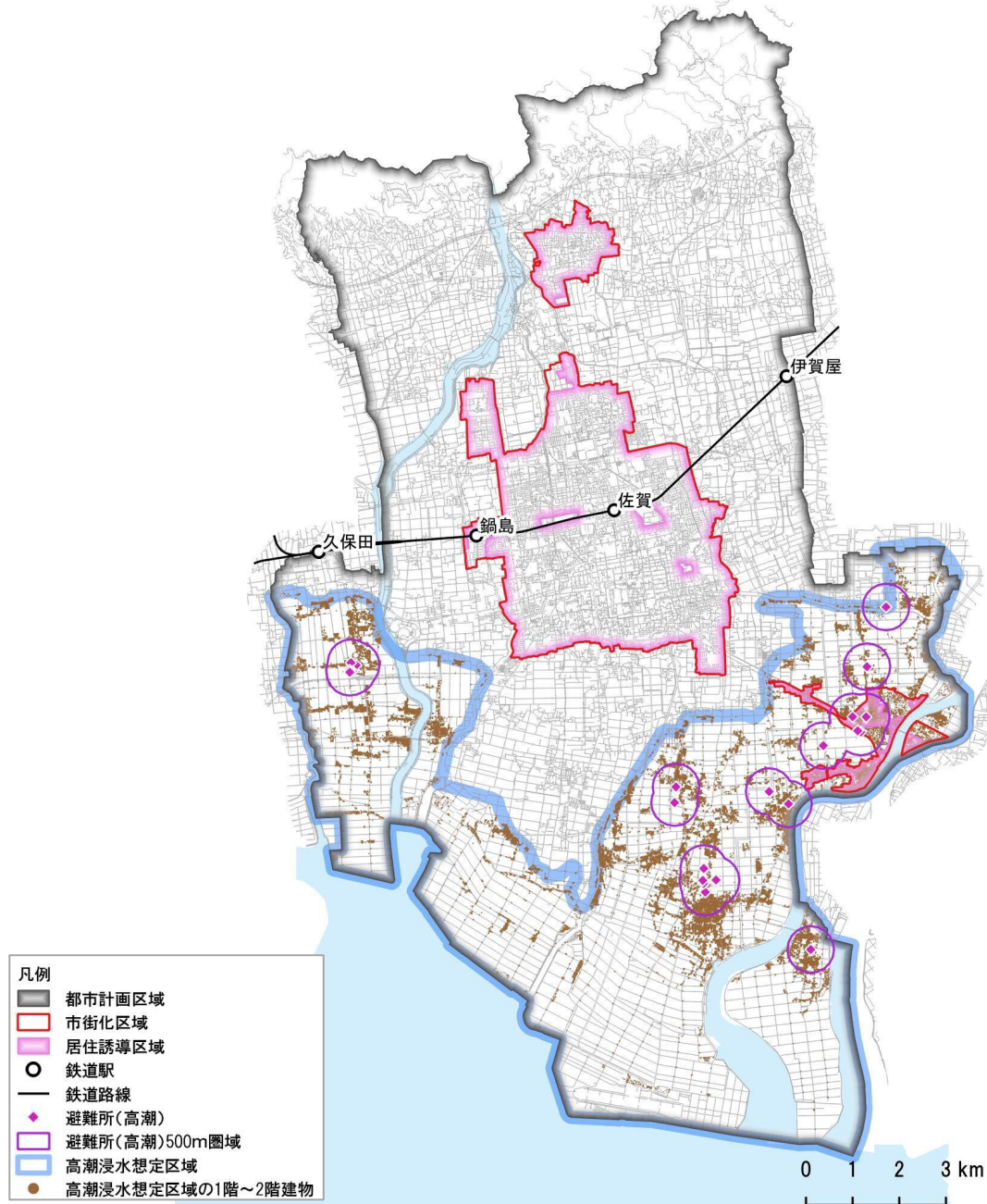
【建物】都市計画基礎調査(佐賀市(平成30年(2018年)))

エ 高潮浸水想定区域 × 建物階数・避難所の状況

高潮浸水想定区域について、市街化区域内においては諸富地域拠点居住誘導区域に、その他は佐賀江川より南側において区域に指定されており、避難所が周辺に立地していない箇所が見受けられます。

なお、避難所25施設が区域内に立地しています。(浸水深の詳細については、第2章「都市構造の現状整理・課題分析」P55を参照)

【高潮浸水想定区域 × 建物階数・避難所の状況】



出典：佐賀市高潮ハザードマップ
 【避難所】佐賀市データ
 【建物】都市計画基礎調査（佐賀市（平成30年（2018年）））

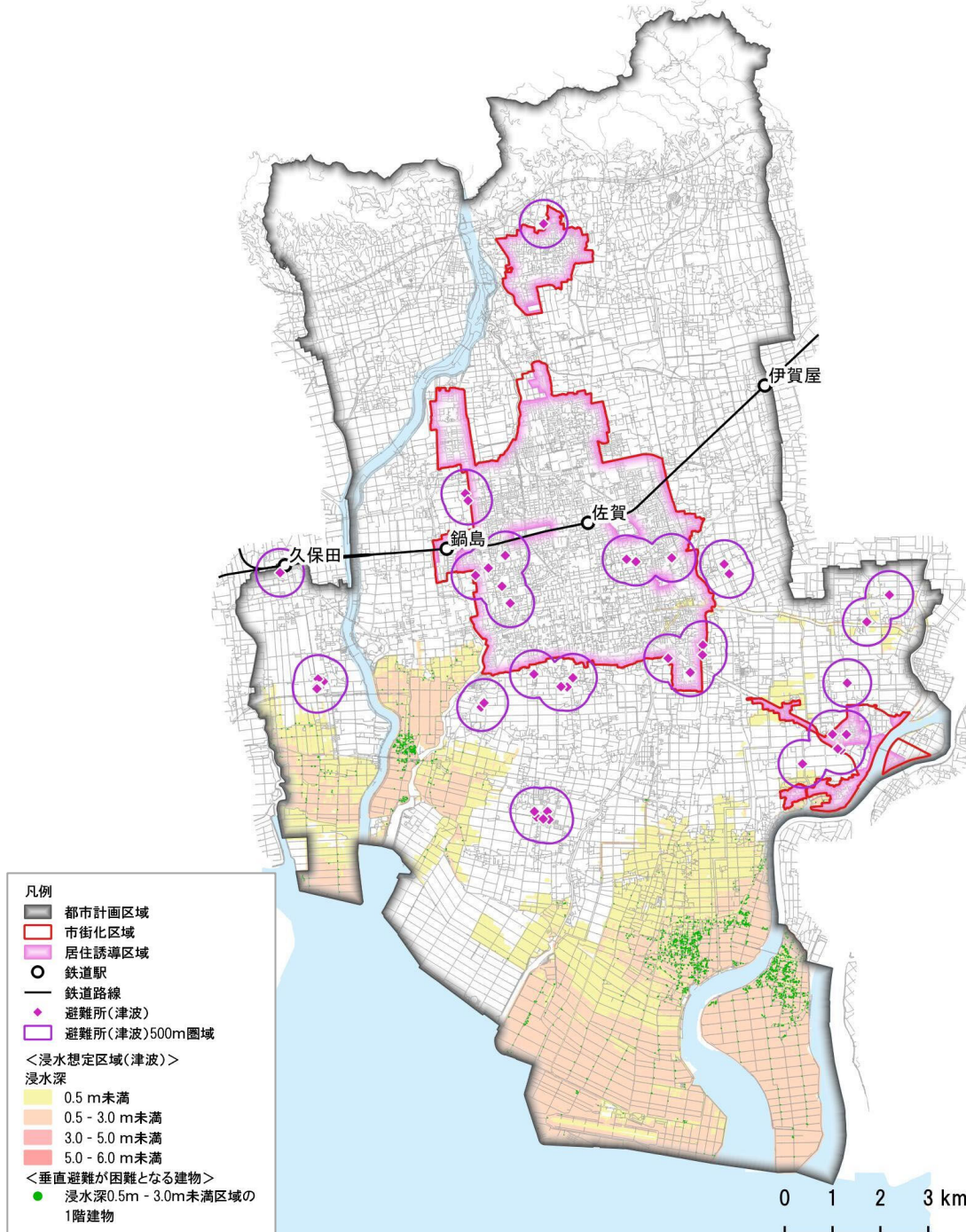
オ 津波浸水想定区域 × 建物階数・避難所の状況

想定最大規模の津波浸水において、垂直避難が困難となる建物は、川副町の早津江川沿岸に多く存在しますが、周辺に避難所がない箇所も見られます。

嘉瀬町の嘉瀬川沿岸においても垂直避難が困難となる建物が存在しますが、避難所が周辺に立地していない箇所が見受けられます。

都市計画区域内に立地している避難所において、津波浸水想定区域内での立地は見られません。

【津波浸水想定区域 × 建物階数・避難所の状況】



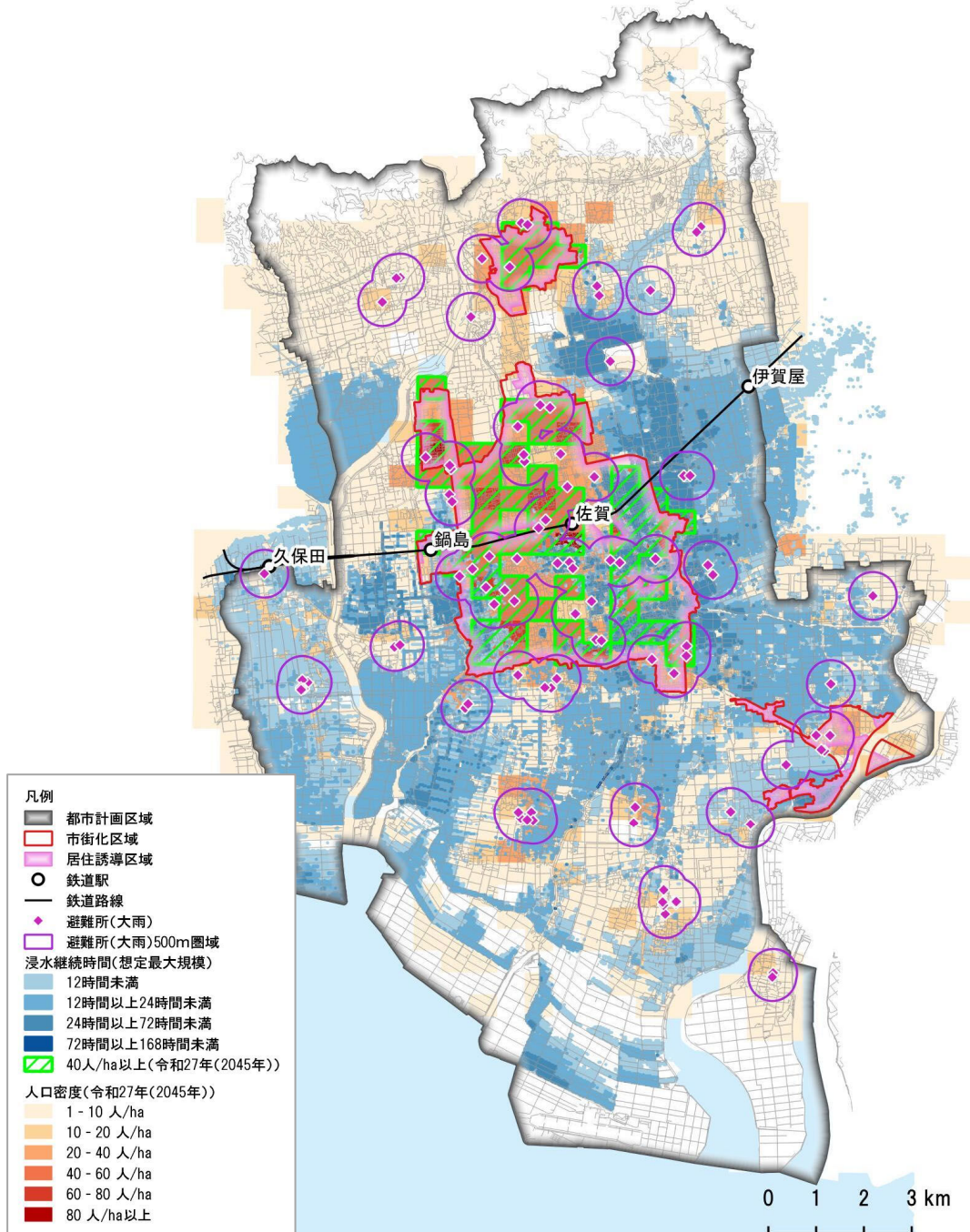
出典：【浸水想定区域(想定最大規模)】佐賀市データ、佐賀市津波ハザードマップ
 【避難所】佐賀市データ
 【建物】都市計画基礎調査(佐賀市(平成30年(2018年)))

カ 洪水浸水継続時間(想定最大規模) × 将来的な人口分布(令和27年(2045年))

中心拠点居住誘導区域の東側や、大和地域拠点居住誘導区域では、令和27年(2045年)時点の人口密度が40人/ha以上の見通しであり、想定最大規模の浸水被害が発生した際に24時間以上72時間未満の浸水継続が想定されるとともに、避難所が周辺に立地していない箇所が見受けられます。

都市計画区域内に立地している避難所95施設のうち、3施設が浸水継続時間24時間以上の区域内に立地しています。

【洪水浸水継続時間(想定最大規模) × 将来的な人口分布(2045年)】



出典：【浸水継続時間(想定最大規模)】国土数値情報
 【避難所】佐賀市データ
 【建物】都市計画基礎調査(佐賀市(平成30年(2018年)))
 【人口密度(令和27年(2045年))】日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018年)推計)、国立社会保障・人口問題研究所(平成30年(2018年)3月)

キ 洪水浸水想定区域(計画規模) × 医療施設・高齢者福祉施設の状況

救急車(自動車)の走行や災害時要援護者の避難が困難となり、医療施設の機能が低下するとされる浸水深0.3m以上のエリアに診療所が1施設立地しています。

なお、計画規模の浸水深0.3m以上の区域に高齢者福祉施設は立地していません。

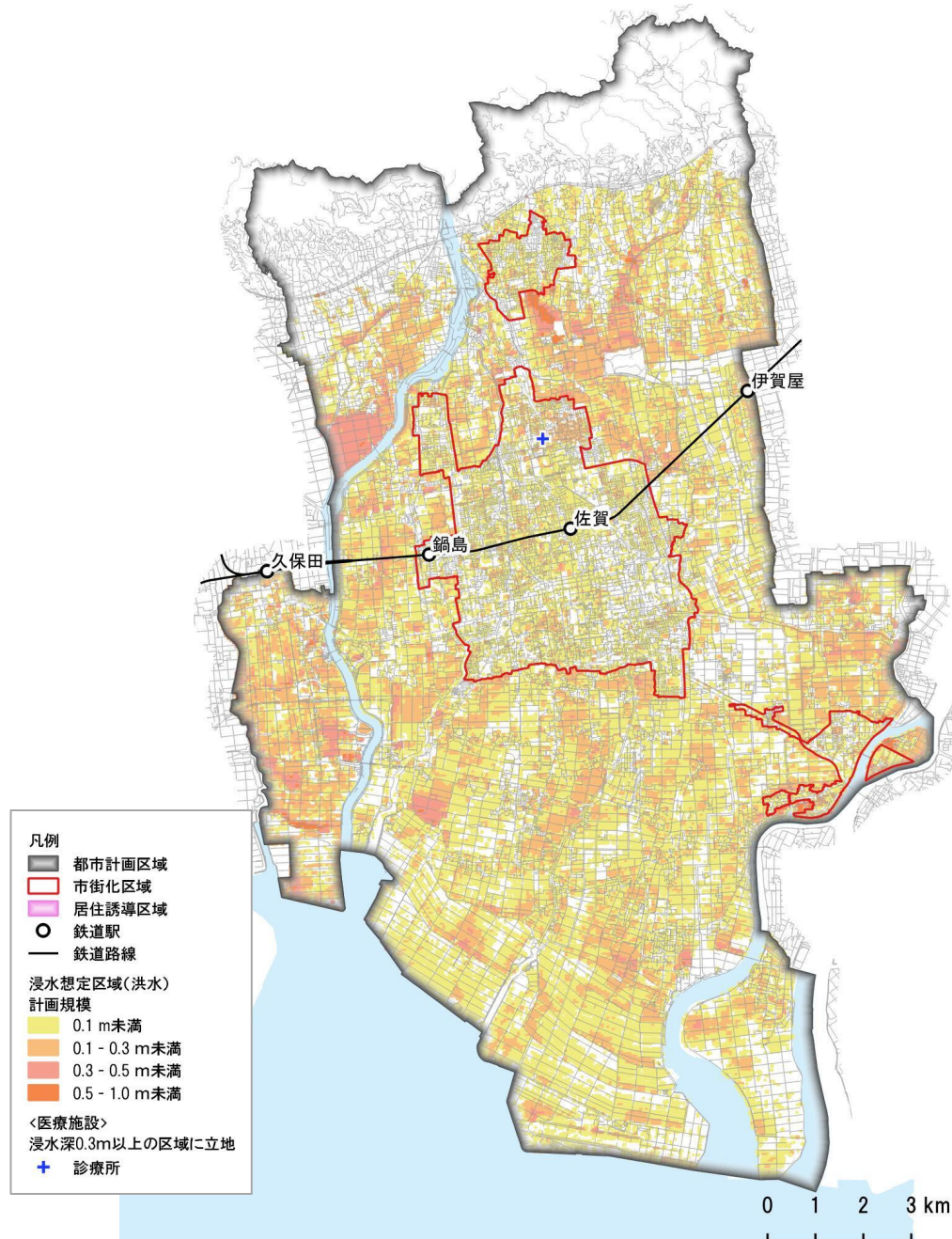
0.3m:自動車(救急車)の走行困難

0.5m:歩行による移動困難、床上浸水

0.7m:コンセントに浸水し停電(医療用電子機器の使用困難)

引用:水害の被害指標分析の手引き(平成25年施行版)

【洪水浸水想定区域(計画規模) × 医療施設の状況】



出典:【浸水想定区域(計画規模)】佐賀市データ

【医療施設】佐賀県病院一覧表(佐賀県HP、佐賀県病院一覧表(佐賀県HP))

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料編

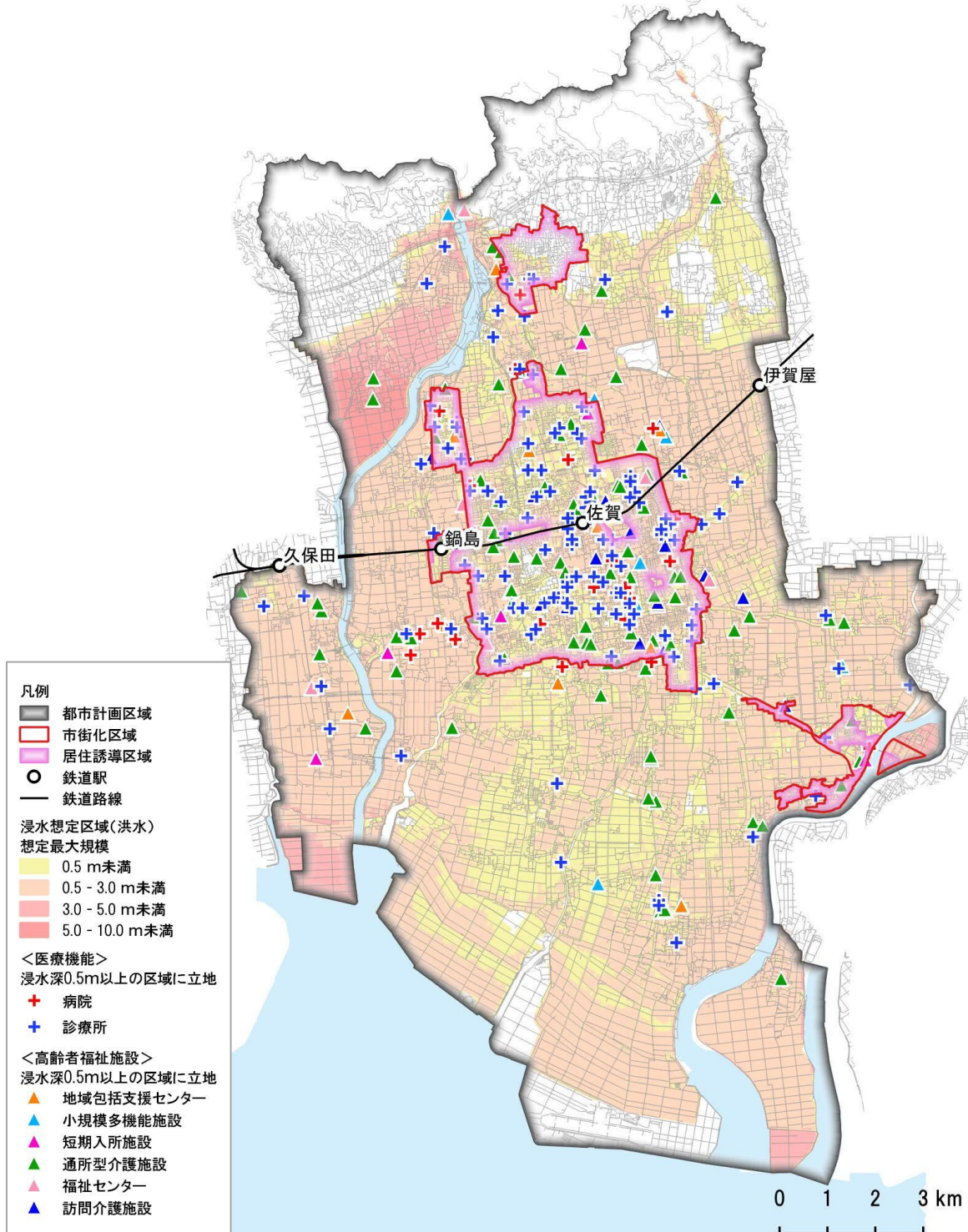
防災指針

ク 洪水浸水想定区域(想定最大規模) ×

医療施設・高齢者福祉施設の状況

浸水深 0.5m 以上のエリアには、病院が21箇所、診療所が125箇所、地域包括支援センターが11箇所、小規模多機能施設が9箇所、短期入所施設が8箇所、通所型介護施設が108箇所、福祉センターが6箇所、訪問介護施設が53箇所立地(救急車(自動車)の走行や災害時要援護者の避難が困難となり、医療施設の機能が低下するとされる浸水深 0.3m以上のエリアの立地状況と同数)しています。

【洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 医療施設・高齢者福祉施設の状況】

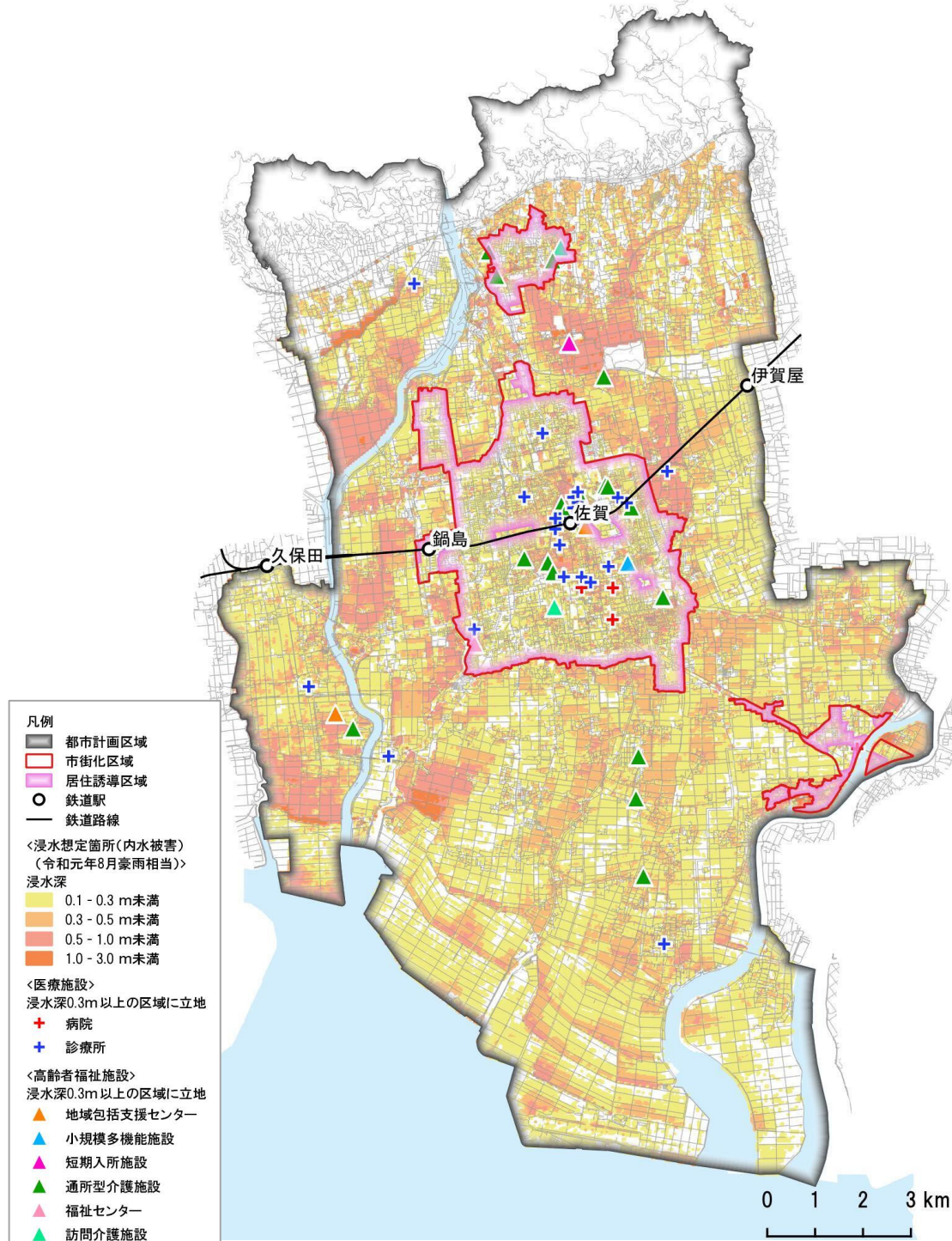


出典：【浸水想定区域(想定最大規模)】佐賀市データ
 【医療施設】佐賀県病院一覧表(佐賀県 HP、佐賀県病院一覧表(佐賀県 HP))
 【高齢者福祉施設】介護DB、佐賀市 HP

ケ 内水浸水想定箇所 × 医療施設・高齢者福祉施設の状況

浸水深 0.3m以上のエリアには、病院が4箇所、診療所が24箇所、地域包括支援センターが2箇所、小規模多機能施設が1箇所、短期入所施設が1箇所、通所型介護施設が21箇所、福祉センターが1箇所、訪問介護施設が9箇所立地しています。

【内水浸水想定箇所（令和元年8月豪雨相当） × 医療施設・高齢者福祉施設の状況】



※佐賀市に大規模な内水氾濫をもたらした令和元年8月豪雨に相当する豪雨と大潮が重なった場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度を示している。

出典：【浸水想定区域（内水被害）】佐賀市データ、佐賀市内水ハザードマップ
 【医療施設】佐賀県病院一覧表（佐賀県 HP、佐賀県病院一覧表（佐賀県 HP）
 【高齢者福祉施設】介護DB、佐賀市 HP

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

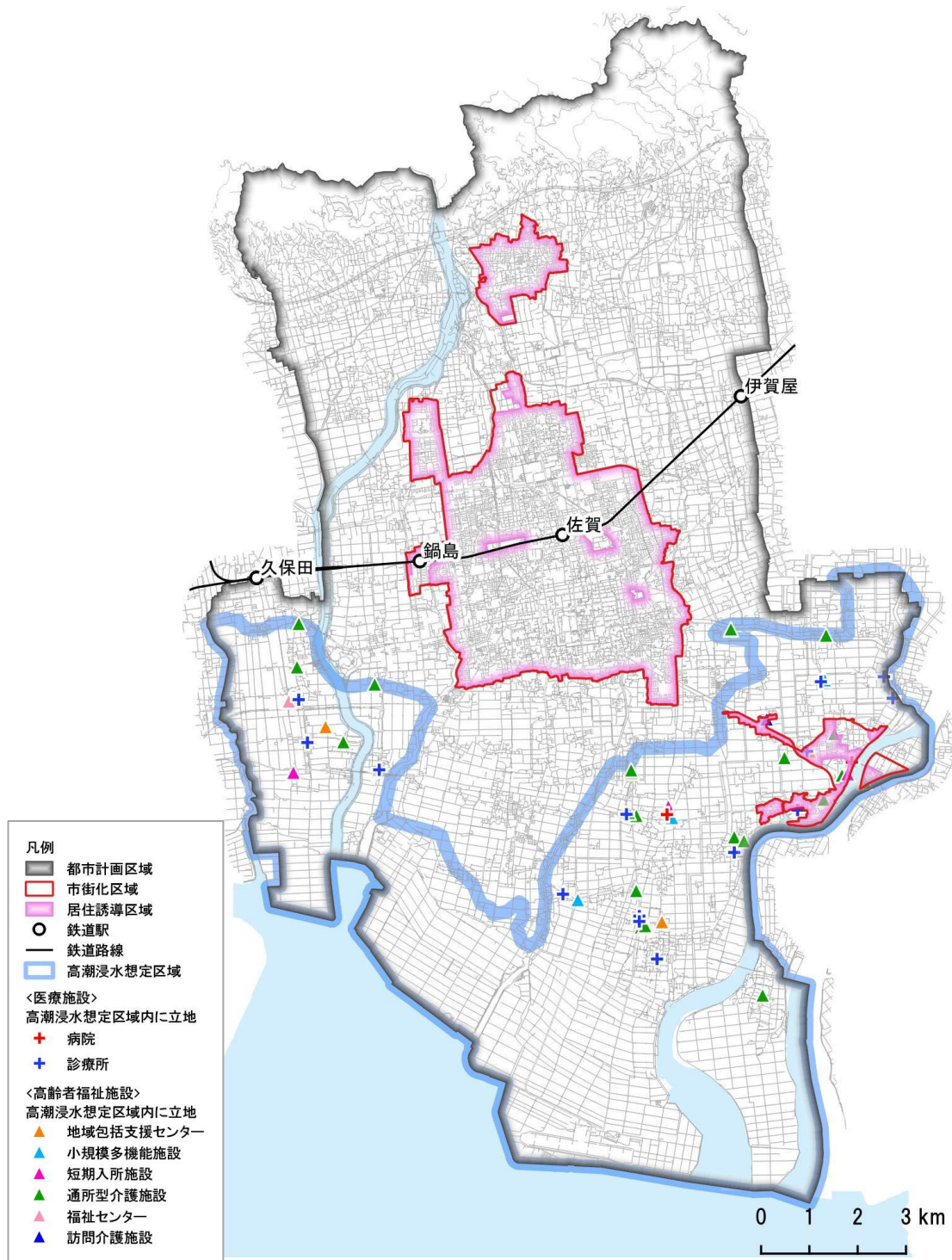
資料編

防災指針

コ 高潮浸水想定区域 × 医療施設・高齢者福祉施設の状況

高潮浸水想定区域には、病院が1箇所、診療所が15箇所、地域包括支援センターが3箇所、小規模多機能施設が3箇所、短期入所施設が4箇所、通所型介護施設28箇所、福祉センターが1箇所、訪問介護施設が10箇所立地しています。(浸水深の詳細については、第2章「都市構造の現状整理・課題分析」P55を参照)

【高潮浸水想定区域 × 医療施設・高齢者福祉施設の状況】

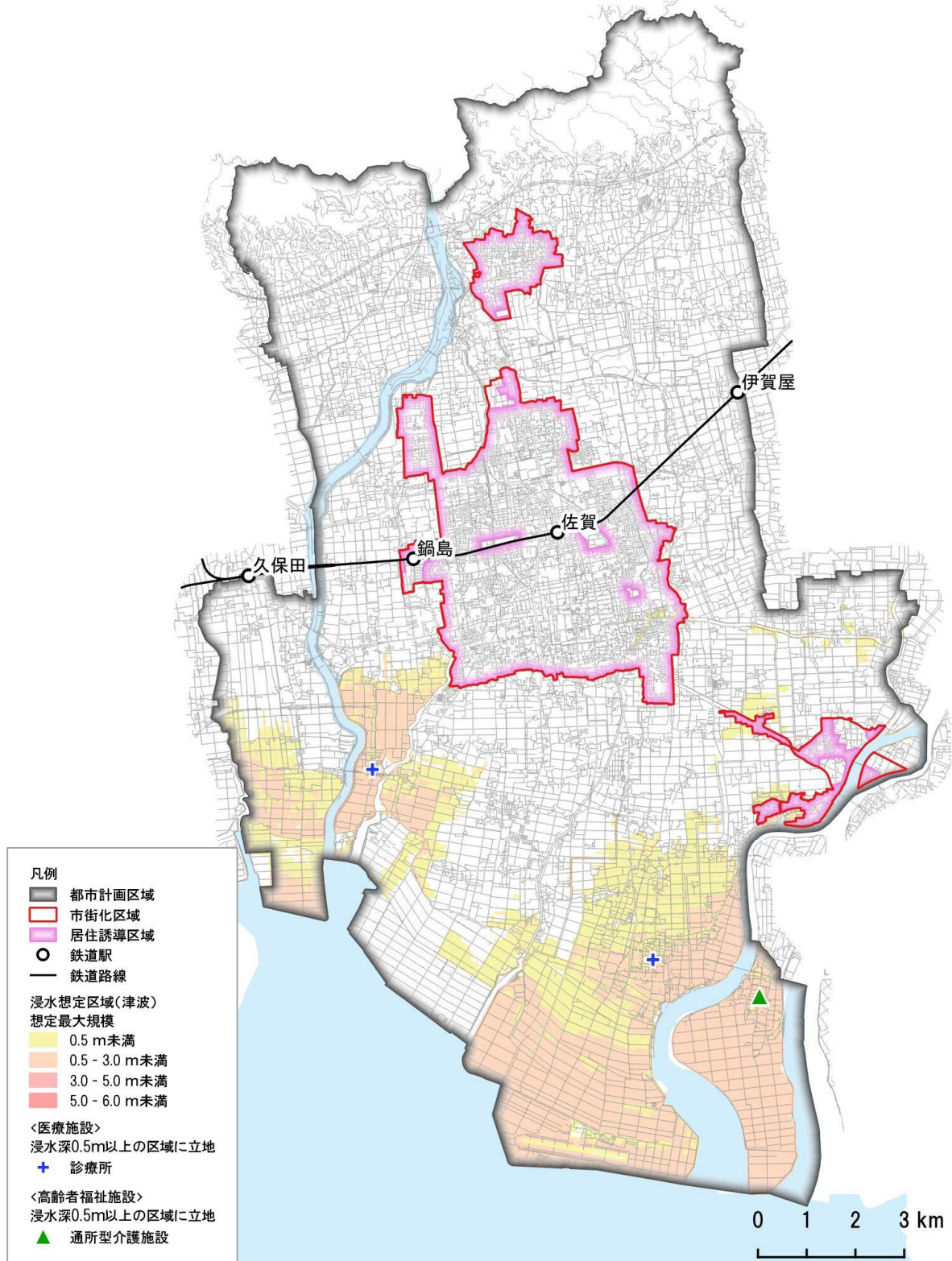


出典：【浸水想定区域（高潮）】佐賀市高潮ハザードマップ
 【医療施設】佐賀県病院一覧表（佐賀県 HP、佐賀県病院一覧表（佐賀県 HP）
 【高齢者福祉施設】介護 DB、佐賀市 HP

サ 津波浸水想定区域 × 医療施設・高齢者福祉施設の状況

浸水深 0.5m以上のエリアには、診療所が2箇所、通所型介護施設が1箇所立地（救急車（自動車）の走行や災害時要援護者の避難が困難となり、医療施設の機能が低下するとされる浸水深 0.3m以上のエリアの立地状況と同数）しています。

【津波浸水想定区域 × 医療施設・高齢者福祉施設の状況】



出典：【浸水想定区域（津波）】佐賀市データ、佐賀市津波ハザードマップ
【医療施設】佐賀県病院一覧表（佐賀県 HP、佐賀県病院一覧表（佐賀県 HP）
【高齢者福祉施設】介護 DB、佐賀市 HP

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料編

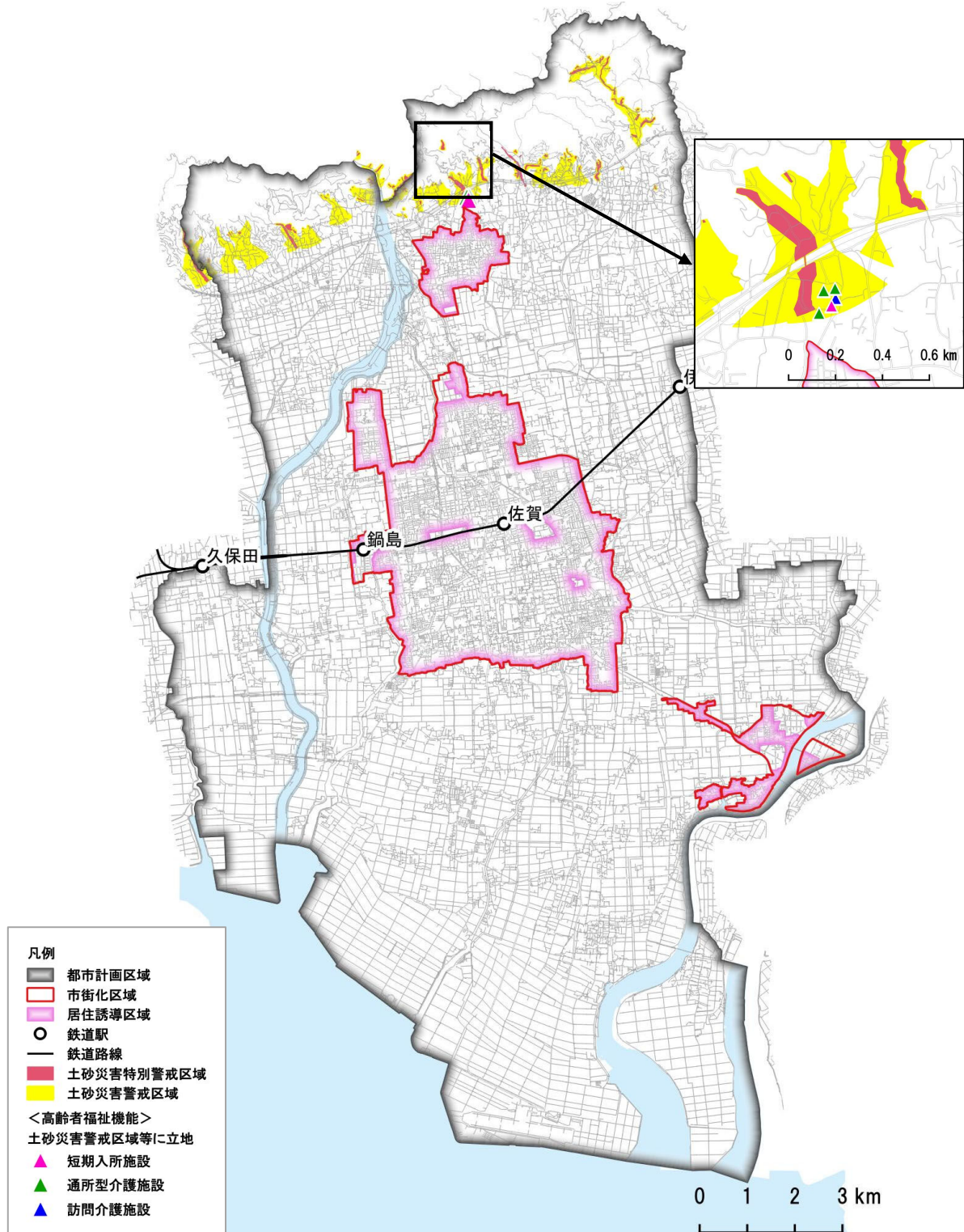
防災指針

シ 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

× 医療施設・高齢者福祉施設の状況

土砂災害警戒区域内には短期入所施設が1箇所、通所型介護施設3箇所、訪問介護施設が1箇所立地しています。

【土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 × 高齢者福祉施設の状況】



出典：【土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域】佐賀市ハザードマップ
【高齢者福祉施設】介護DB、佐賀市HP

ス 洪水浸水想定区域(計画規模) × 主要道路・アンダーパスの状況

都市計画区域内の主要道路(国道)は、計画規模の浸水発生により0.3m未満の浸水が想定されており、自動車の通行が困難になる恐れがあります。

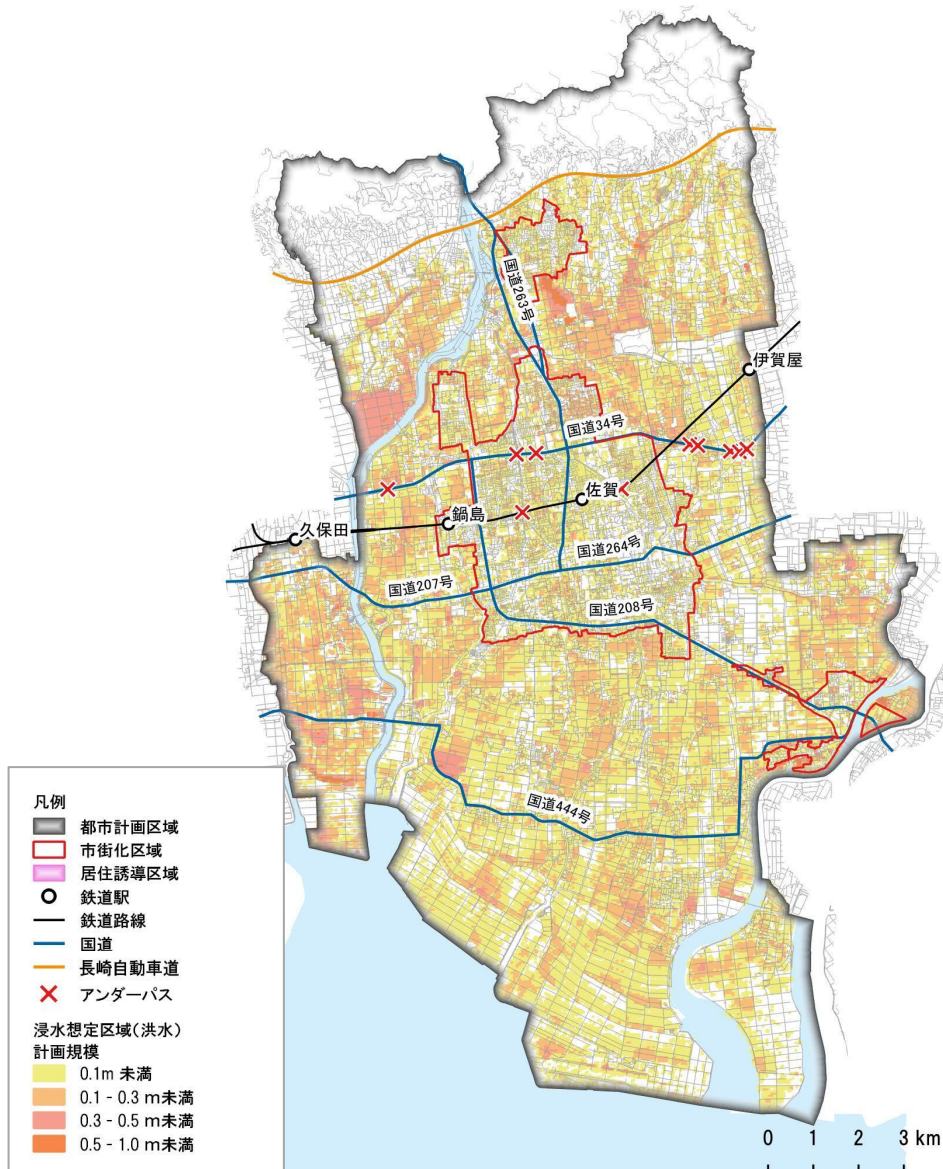
都市計画区域内において、交差する鉄道・道路の下を通過するため、周辺より低くなっているアンダーパスがあります。

JR長崎本線と交差している道路において、アンダーパスとなっている箇所が2地点あり、いずれも0.3m未満の浸水が想定されています。

また、国道34号と交差している道路において、アンダーパスとなっている箇所が8地点あり、いずれも0.3m未満の浸水が想定されています。

0.1m:乗用車のブレーキの利きが悪くなる
 0.2m:道路管理者によるアンダーパス等の通行止め基準
 0.3m:自治体のバス運行停止基準、乗用車の排気管やトランスミッション等が浸水
 0.6m:JAFの実験でセダン、SUVともに走行不可
 引用:水害の被害指標分析の手引き(平成25年施行版)

【洪水浸水想定区域(計画規模) × 主要道路・アンダーパスの状況】



出典:【浸水想定区域(計画規模)】佐賀市データ
 【アンダーパス】佐賀市ハザードマップ

セ 洪水浸水想定区域(想定最大規模) ×

主要道路・アンダーパスの状況

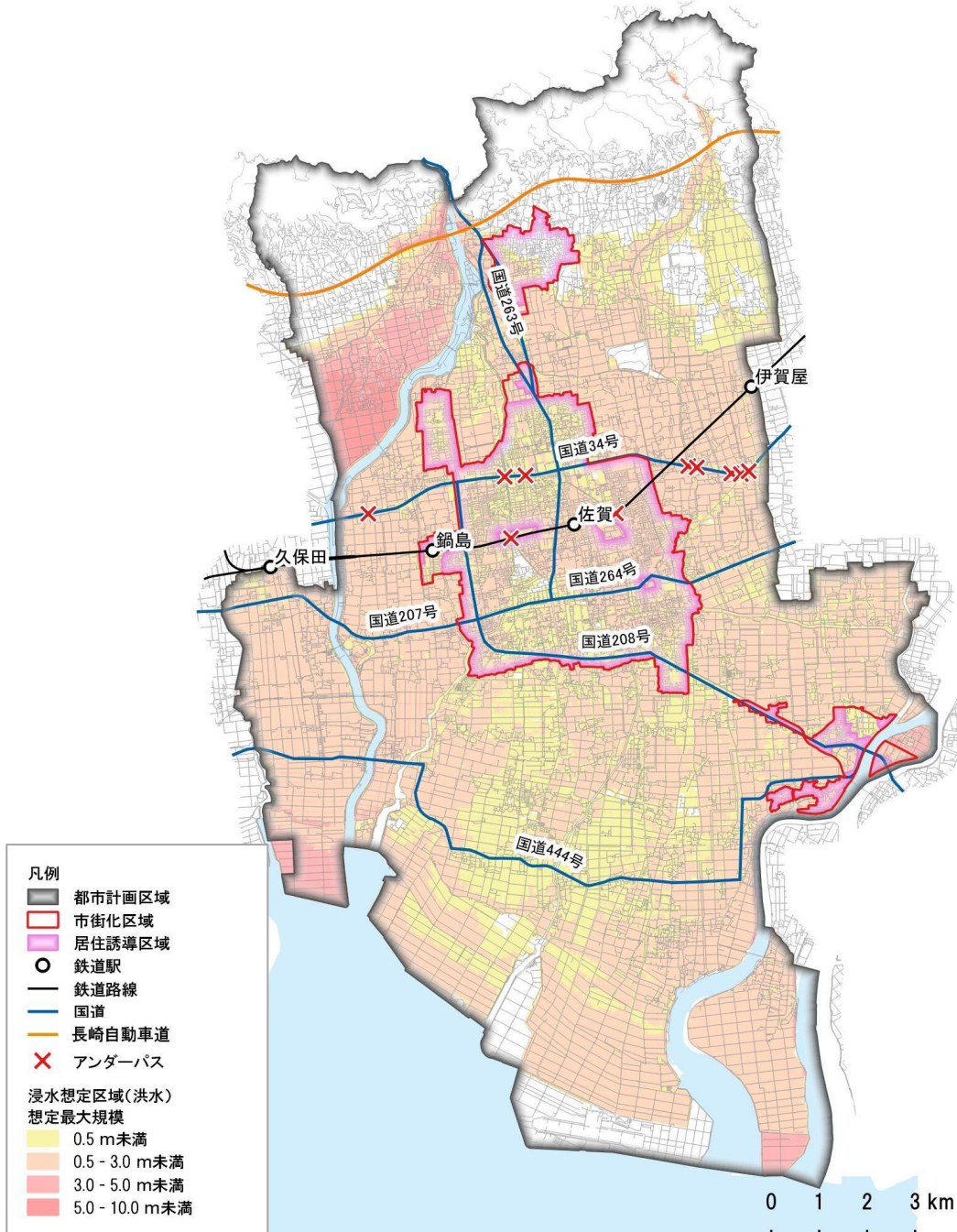
都市計画区域内の主要道路(国道)は、想定最大規模の浸水発生により3.0m未満の浸水が想定されており、自動車の通行が困難になる恐れがあります。

都市計画区域内において、交差する鉄道・道路の下を通過するため、周辺より低くなっているアンダーパスがあります。

JR長崎本線と交差している道路において、アンダーパスとなっている箇所が2地点あり、いずれも0.5m未満の浸水が想定されています。

また、国道34号と交差している道路において、アンダーパスとなっている箇所が8地点あり、0.5m未満の浸水が想定される区域には5地点、3.0m未満の浸水が想定される区域には2地点、5.0m未満の浸水が想定される区域には1地点あります。

【洪水浸水想定区域(想定最大規模) × 主要道路・アンダーパスの状況】



出典：【浸水想定区域(想定最大規模)】佐賀市データ、佐賀市洪水ハザードマップ
【アンダーパス】佐賀市ハザードマップ

ソ 内水浸水想定箇所 × 主要道路・アンダーパスの状況

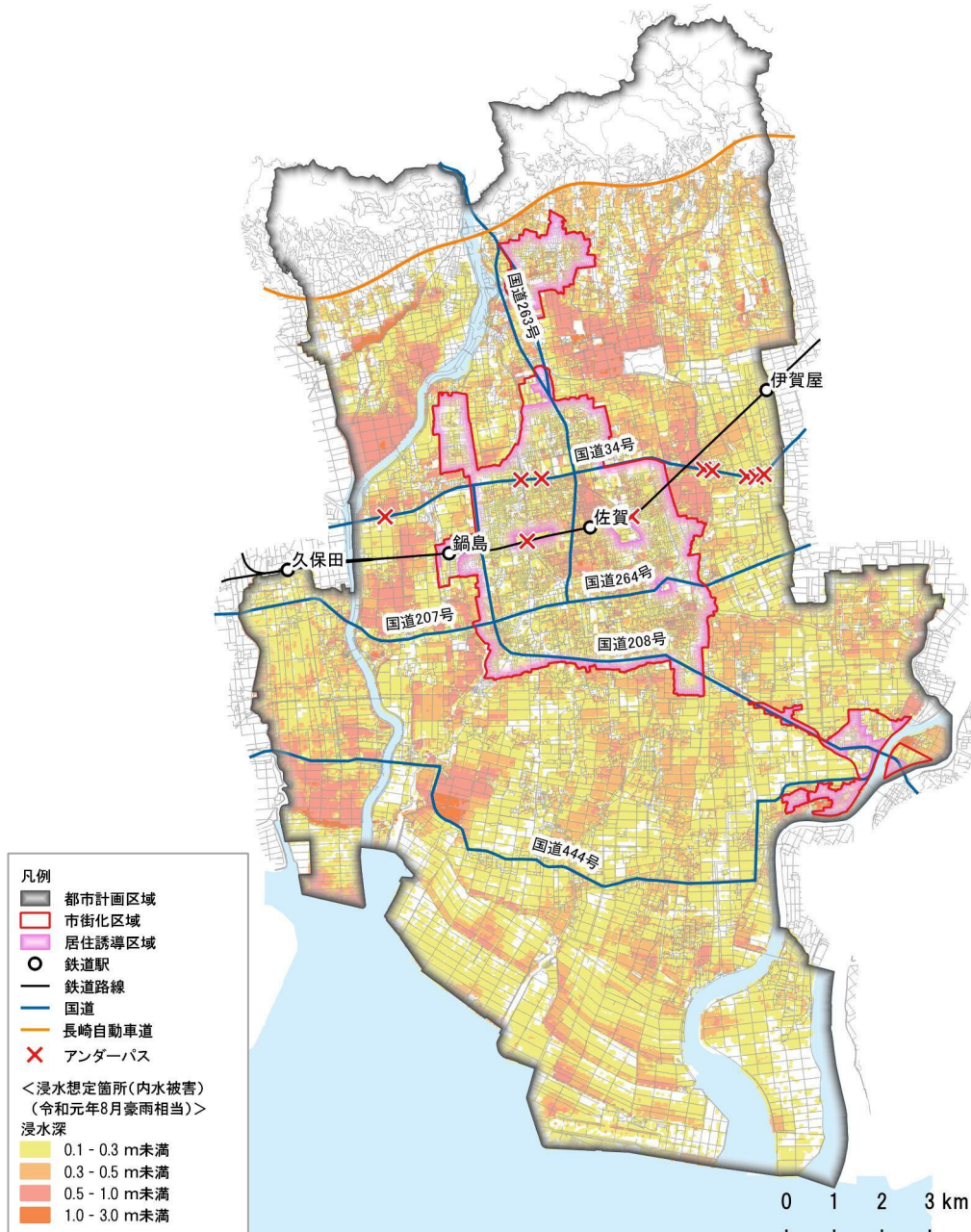
都市計画区域内の主要道路(国道)は、内水被害の浸水発生により3.0m未満の浸水が想定されており、自動車の通行が困難になる恐れがあります。

都市計画区域内において、交差する鉄道・道路の下を通過するため、周辺より低くなっているアンダーパスがあります。

JR長崎本線と交差している道路においてアンダーパスとなっている箇所が2地点あり、いずれも0.3m未満の浸水が想定されています。

また、国道34号と交差している道路においてアンダーパスとなっている箇所が8地点あり、いずれも0.3m未満の浸水が想定される区域には4地点、1.0m未満の浸水が想定される区域には4地点あります。

【内水浸水想定箇所(令和元年8月豪雨相当) × 主要道路・アンダーパスの状況】



※佐賀市に大規模な内水氾濫をもたらした令和元年8月豪雨に相当する豪雨と大潮が重なった場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度を示している。

出典：【浸水想定区域(内水被害)】佐賀市データ、佐賀市内水ハザードマップ
【アンダーパス】佐賀市ハザードマップ

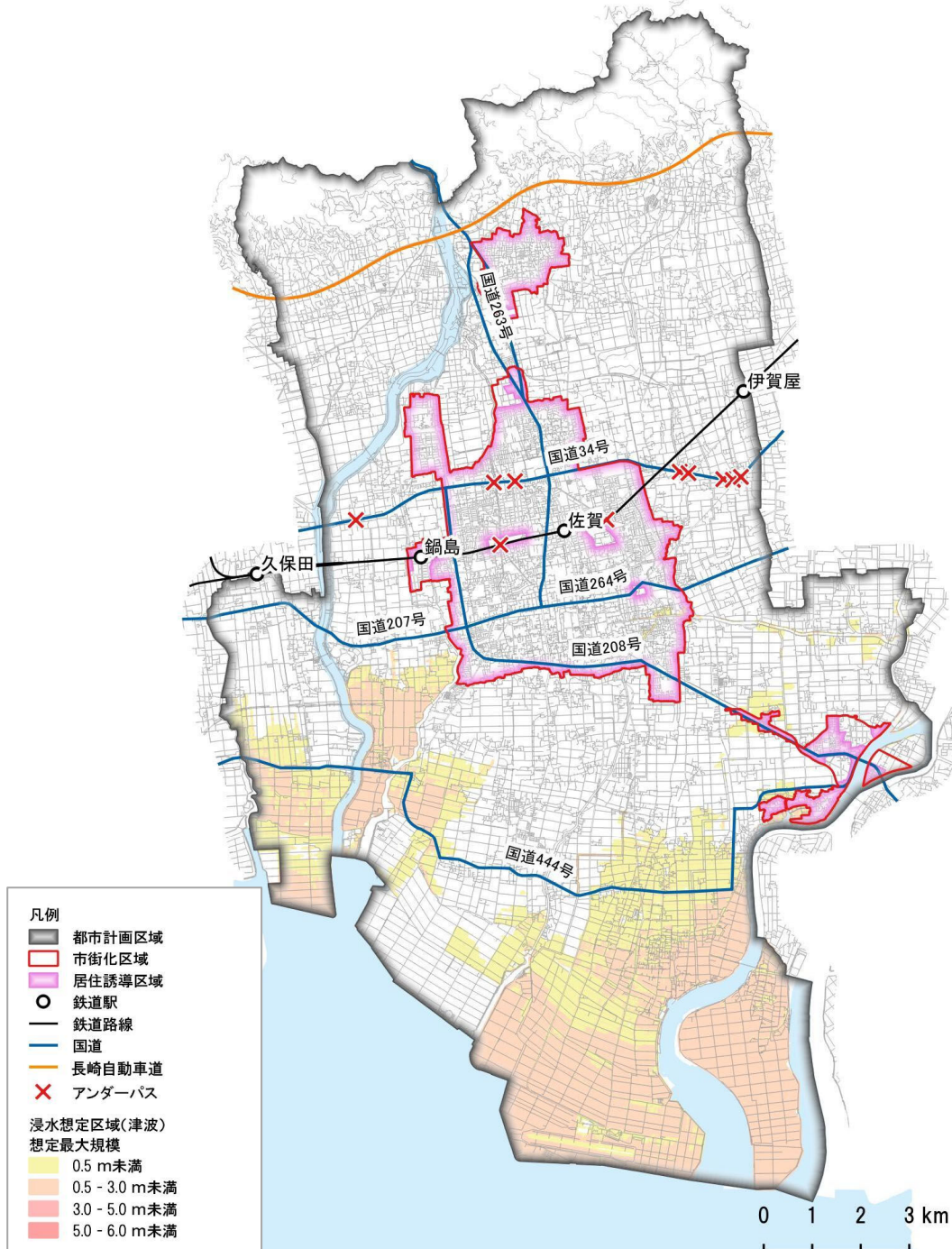
タ 津波浸水想定区域 × 主要道路・アンダーパスの状況

都市計画区域内の主要道路は、想定最大規模の津波浸水発生により、国道444号の一部区間において3.0m未満の浸水が想定されており、自動車の通行が困難になる恐れがあります。

都市計画区域内において、交差する鉄道・道路の下を通過するため、周辺より低くなっているアンダーパスがあります。

JR長崎本線と交差している道路において、アンダーパスとなっている箇所が2地点あり、国道34号と交差している道路において、アンダーパスとなっている箇所が8地点ありますが、いずれも浸水は想定されていない区域です。

【津波浸水想定区域 × 主要道路・アンダーパスの状況】



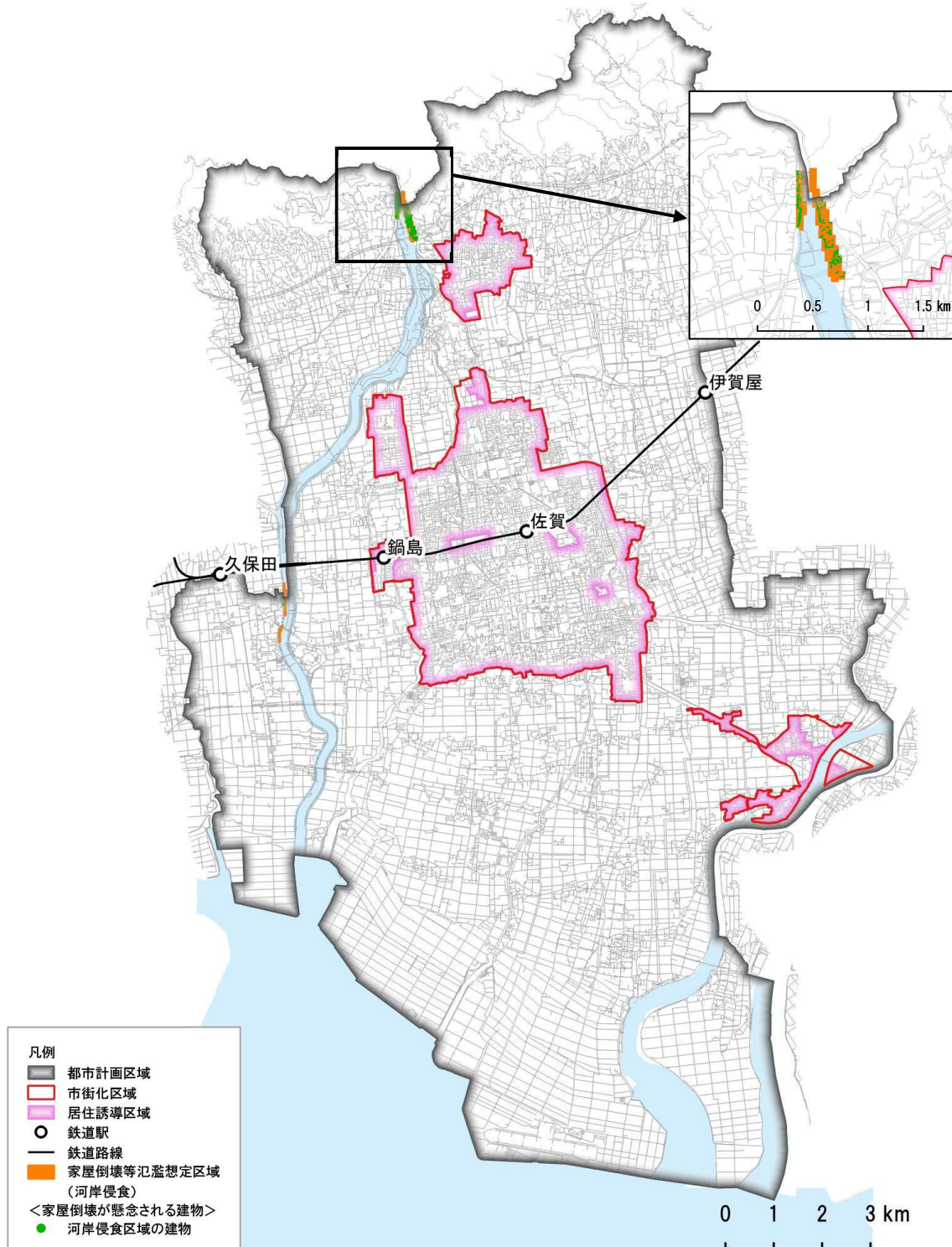
出典：【浸水想定区域（津波）】佐賀市データ、佐賀市津波ハザードマップ
【アンダーパス】佐賀市ハザードマップ

(2) 河岸侵食・氾濫流による課題

ア 河岸侵食の想定区域 × 建物立地の状況

洪水時の河岸侵食により木造・非木造の家屋倒壊の恐れがある家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）について、嘉瀬川沿岸では182棟の建物が立地しており、家屋倒壊が懸念されます。

【河岸侵食の想定区域 × 建物立地の状況】



出典：【家屋倒壊等氾濫想定区域】佐賀市データ
【建物】都市計画基礎調査（佐賀市（平成30年（2018年）））

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

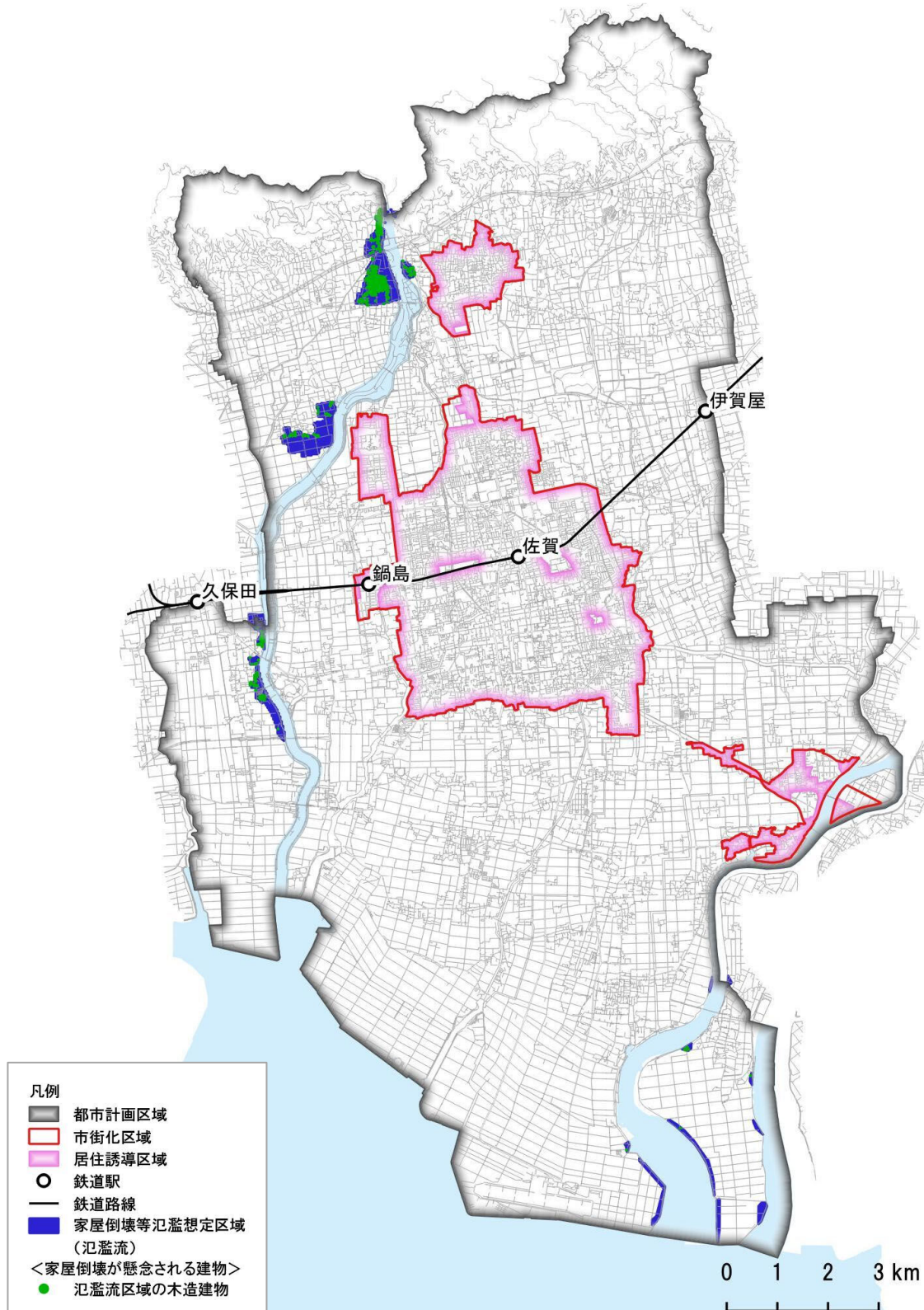
資料編

防災指針

イ 氾濫流の想定区域 × 建物立地の状況

河岸堤防の決壊または洪水氾濫流により、木造建物の倒壊の恐れがある洪水家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）について、嘉瀬川沿岸では895棟の木造建物が立地しており、家屋倒壊が懸念されます。

【氾濫流の想定区域 × 建物立地の状況】



出典：【家屋倒壊等氾濫想定区域】佐賀市データ
【建物】都市計画基礎調査（佐賀市（平成30年（2018年）））

(3) 地震による課題

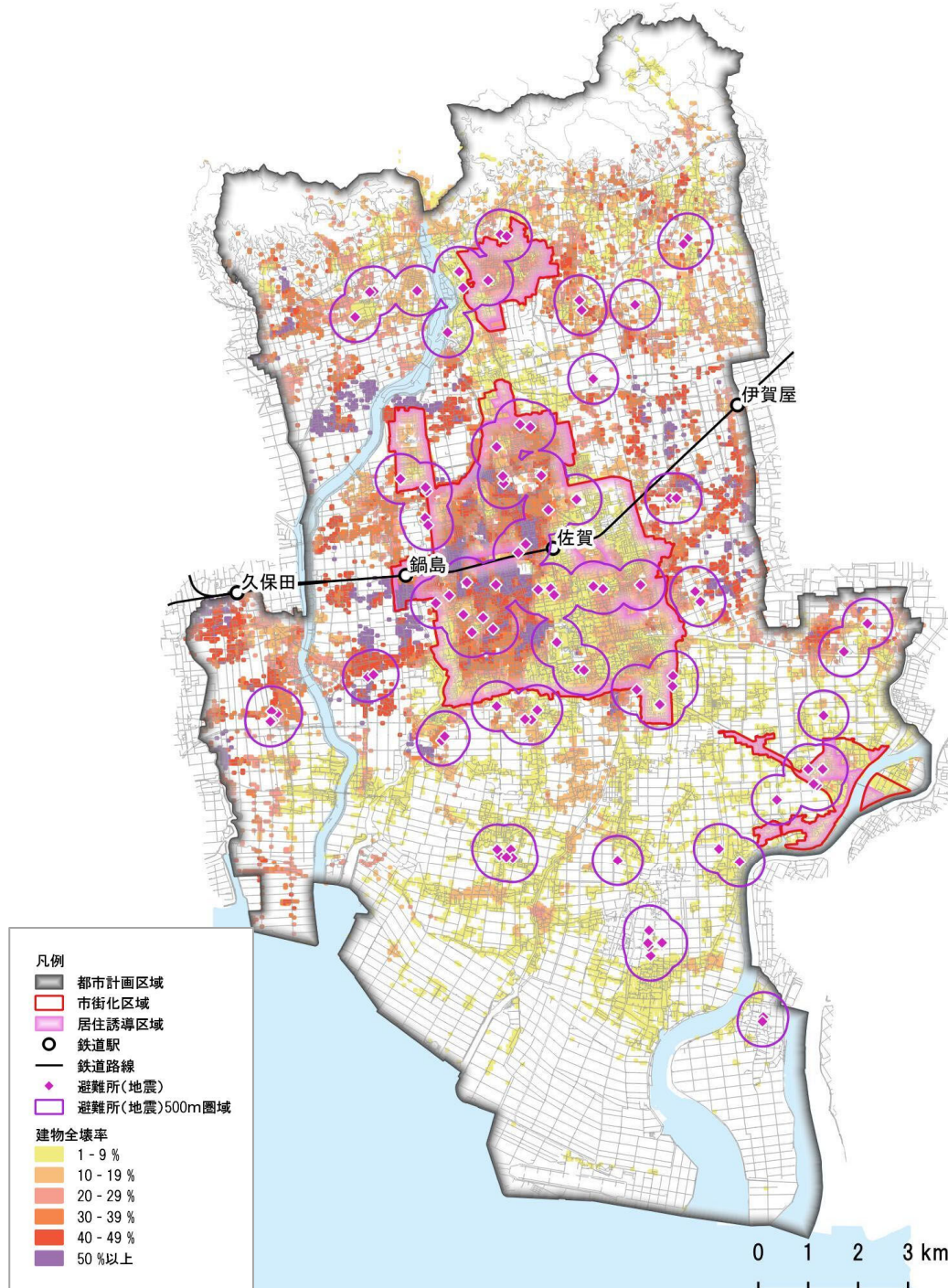
ア 建物全壊率 × 避難所の状況

中心拠点居住誘導区域の西側においては、全壊率が高くなっています。

都市計画区域内の建物全壊率50%以上の区域に避難所は3施設立地しています。

都市計画区域内に立地している避難所94施設のうち、3施設が建物全壊率50%以上の区域内に立地しています。

【建物全壊率 × 避難所の状況】



出典：【避難所・建物全壊率】佐賀市データ
【建物】都市計画基礎調査（佐賀市（平成30年（2018年）））

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

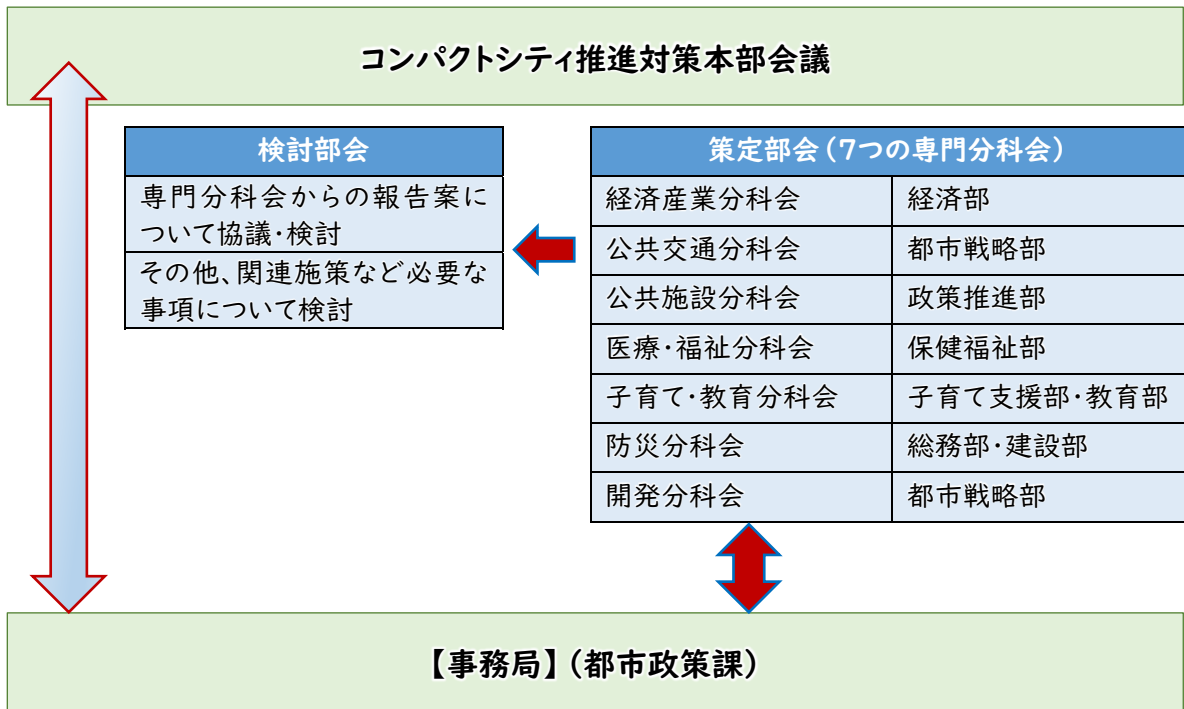
第9章

資料編

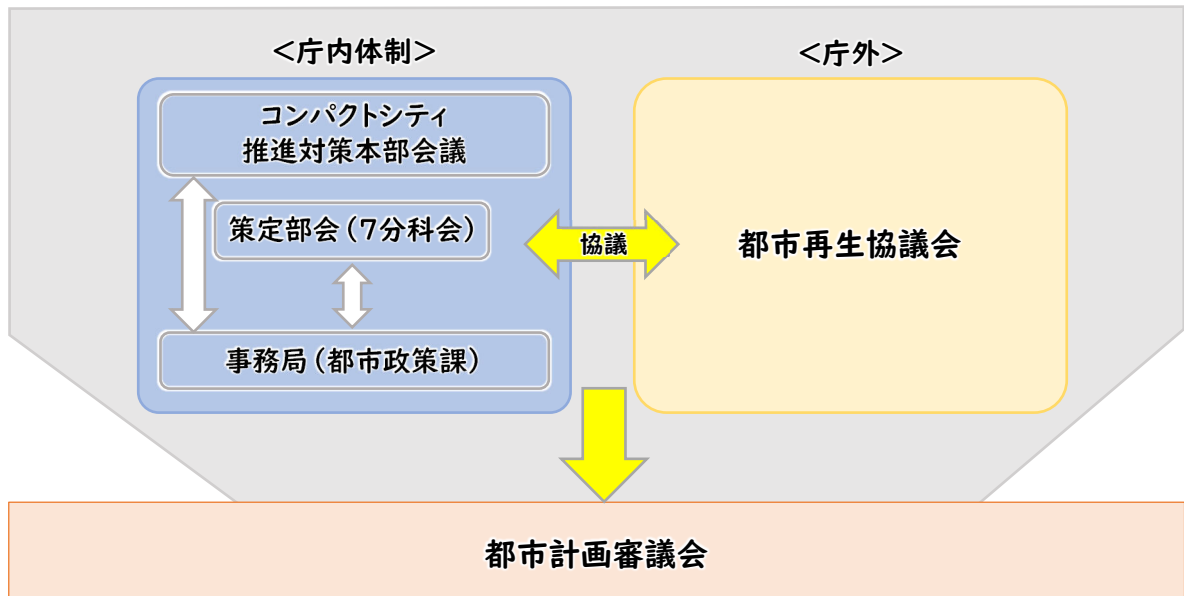
防災指針

「資料編」立地適正化計画の策定体制

(1) 庁内



(2) 庁外



「資料編」立地適正化計画の策定経緯

令和4年度

実施時期	実施事項	備考
令和4年8月17日	策定部会(全分科会)	◇立地適正化計画について
令和4年9月～ 令和4年10月	まちづくりに関する市民アンケート調査	◇配布数 2,000 ◇回収総数 712名 (回収率 35.6%)
令和4年11月11日	第1回コンパクトシティ推進対策本部会議	◇立地適正化計画について
令和4年11月24日	策定部会(経済産業、公共交通分科会)	◇都市機能誘導区域(案)について
令和4年11月30日	第1回佐賀商工会議所建設部会	◇コンパクトシティ、立地適正化計画について
令和4年12月22日	第1回都市再生協議会	◇立地適正化計画について ◇都市構造分析及び市民アンケート結果について
令和5年2月9日	第2回都市再生協議会	◇住民意向の把握(アンケート調査のクロス集計結果)について ◇立地適正化計画におけるまちづくりの基本的方針等について
令和5年2月13日	策定部会(公共施設、医療・福祉、子育て・教育分科会)	◇誘導施設、所管建築物について
令和5年2月15日	第2回佐賀商工会議所建設部会	◇居住誘導区域、都市機能誘導区域について

令和5年度

実施時期	実施事項	備考
令和5年6月2日	第2回コンパクトシティ推進対策本部会議	◇居住誘導区域及び都市機能誘導区域について
令和5年6月8日	第3回都市再生協議会	◇居住誘導区域及び都市機能誘導区域について
令和5年7月3日	策定部会(公共交通分科会)	◇誘導施策について
令和5年7月12日	策定部会(医療・福祉分科会)	◇誘導施策について
令和5年7月13日	策定部会(経済産業分科会)	◇誘導施策について
令和5年7月25日	都市計画審議会	◇立地適正化計画(素案)について
令和5年7月27日	立地適正化計画ヒアリング(国土交通省)	◇立地適正化計画(素案)について
令和5年8月17日	策定部会(全分科会)	◇誘導施策について
令和5年8月22日	第3回コンパクトシティ推進対策本部会議	◇都市機能誘導区域について ◇立地適正化計画(素案)について
令和5年8月24日	第4回都市再生協議会	◇都市機能誘導区域について ◇立地適正化計画(素案)について
令和5年10月4日	第3回佐賀商工会議所建設部会	◇立地適正化計画(案)概要版について
令和5年10月10日	春日校区自治会長会	◇立地適正化計画(案)について
令和5年10月11日	春日北校区自治会長会	◇立地適正化計画(案)について
令和5年10月12日	諸富校区自治会長会	◇立地適正化計画(案)について
令和5年10月16日～ 令和5年11月15日	パブリックコメント	◇立地適正化計画(案)について
令和5年11月2日	市民説明会	◇立地適正化計画(案)について
令和5年11月16日	第4回コンパクトシティ推進対策本部会議	◇パブリックコメント等の結果報告について ◇立地適正化計画(案)について
令和5年11月17日	第5回都市再生協議会	◇パブリックコメント等の結果報告について ◇立地適正化計画(案)について
令和5年12月25日	都市計画審議会	◇パブリックコメント等の結果報告について ◇立地適正化計画(案)について

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料編

立地適正化計画の
策定経緯

(I) 都市計画審議会委員名簿

	分野	所属・団体名	氏名
1号委員	都市工学	国立大学法人 佐賀大学 名誉教授	荒牧 軍治
〃	〃	国立大学法人 佐賀大学理工学部 教授	後藤 隆太郎
〃	建築・景観	建築士	川浪 安則
〃	環境衛生	国立大学法人 佐賀大学教育学部 准教授	高島 千鶴
〃	その他	佐賀女子高校衛生看護科 非常勤講師 (フラワーコーディネーター)	中野 美和子
〃	法律・経済	佐賀県弁護士会 弁護士	奈良崎 真士
〃	商工業	佐賀青年会議所 理事長	園田 耕太郎
〃	農業	佐賀市農業委員会 会長	大園 敏明
〃	土地・建物	佐賀県宅地建物取引業協会 常務理事	千々岩 邦光
2号委員	市議会	佐賀市議会議員	江口 善己
〃	〃	〃	川崎 健二
〃	〃	〃	西岡 真一
〃	〃	〃	久米 勝也
〃	〃	〃	中村 宏志
3号委員	関係行政機関	佐賀国道事務所 所長	大榎 謙
〃	〃	佐賀土木事務所 所長	満石 孝司
〃	〃	佐賀中部農林事務所 所長	田代 浩幸
4号議員	住民代表	住民代表	石丸 栄美子
〃	〃	〃	古賀 香光

※令和5年12月25日時点

(2) 佐賀市都市再生協議会委員名簿

分野	所属・団体名	氏名
学識者 (都市工学)	国立大学法人 佐賀大学 理工学部 理工学科 准教授	猪八重 拓郎
都市再生・ まちづくり	独立行政法人 都市再生機構 (UR) 九州支社 都市再生業務部 まちづくり支援課 課長	三戸 勇二
経済産業	佐賀商工会議所 事務局長	八谷 浩司
中心市街地	特定非営利活動法人まちづくり機構 ユマニテさが タウンマネージャー	庄野 雄輔
地域公共交通	一般社団法人 佐賀県バス・タクシー協会 専務理事	草野 武生
医療・福祉	一般社団法人 佐賀市医師会 会長	吉原 正博
子育て・教育	学校法人永原学園 西九州大学 子ども学専攻 子ども学科 教授	高尾 兼利
防災	特定非営利活動法人 日本防災士機構 認証防災士	小林 紀
空き家	NPO法人 空家・空地活用サポートSAGA 代表理事	塚原 功
DX・ スマートシティ	株式会社 ローカルメディアラボ 代表取締役	牛島 清豪
自治会	佐賀市自治会協議会 会長	小城原 直
※令和5年11月17日時点		
オブザーバー	佐賀県県土整備部まちづくり課 課長	天本 貴子

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料編

立地適正化計画の
策定経緯

(3) 佐賀商工会議所建設部会委員名簿

	所属・役職名	氏名
建設部会 部会長	株式会社中野建設 代表取締役社長	中野 武志
建設部会 副部会長	松尾建設株式会社 代表取締役会長	山田 裕久
//	株式会社佐電工 代表取締役社長	永倉 理一郎
//	株式会社石橋建築事務所 代表取締役社長	野中 毅
専務理事	佐賀商工会議所	古園 裕久
理事・事務局長	佐賀商工会議所	八谷 浩司
事務局	佐賀商工会議所 企業支援部長兼支援・サービス企画課長	坂井 俊彦

※令和5年10月4日時点

佐賀市 立地適正化計画

令和6年4月

発行:佐賀市 都市戦略部 都市政策課

住所:〒840-8501

佐賀県佐賀市栄町1番1号

電話:0952-40-7163

FAX:0952-26-7376

